

CMS インストーラー

CMS インストーラーは、WordPress などの CMS ツールを CPI サーバーに簡単にインストールできる機能です。

目次

- 🔍 インストールにあたっての注意
- 🔍 インストールにあたっての制約事項

インストールにあたっての注意

バージョンにご留意ください

当ツールにてインストールされるソフトのバージョンは必ずしも最新のものではありません。最新のバージョンが公開されている場合は、最新版をご利用ください。

随時バージョンアップをお願いいたします

インストール後に公式サイトにてバージョンアップが行われた場合にはお客様の責任にてバージョンアップパッチの適用等を随時お願いいたします。

深刻なセキュリティ問題が解決されない場合

非常に重大かつ深刻なセキュリティに関する問題が解決されない場合、インストールされたソフトのご利用を見合わせいただくか、一部ファイルの書き換えを強制的に行う場合があります。安全なサーバー環境を維持するためにご了承ください。

機能・利用方法はサポート対象外です

各ソフトの機能および利用方法、バージョンアップ方法などについてのサポートはいっさい行っておりません。利用方法等につきましては、公式サイトまたは関連書籍をご参照ください。

以下のディレクトリにはインストールできません

.htaccess の存在するディレクトリ
アクセス制御 (BASIC 認証) をご利用いただいているディレクトリ
サブドメイン用ディレクトリ (/virtual) 配下

サーバー移転中のお客様は、DNS 情報の変更/浸透が完了するまでは正常に動作いたしません。この原因は、URL と IP アドレスの関係が更新されていないためですのでご了承ください。

Movable Type 6

Movable Type とは、シックス・アパート社が開発したウェブログシステムです。

人気の理由は、機能の豊富さと洗練されたデザインにあり、多くの個人ユーザーや企業ユーザーに採用されています。管理画面から簡単にコンテンツの追加、削除、編集が行えるため、コンテンツ・マネジメント・システムとしても優れています。

またウェブログサイトは、Google などの検索結果の上位に表示されやすい傾向があるため、ウェブログサイトをうまく運用することによって、自社サイトへのアクセスを誘導することも可能です。

インストール

❗ 重要

コントロールパネルのインストーラーを用いずに、シックス・アパート社より Movable Type をダウンロードして運用される場合にはユーザー・ライセンスが適用されません。ご注意ください。

目次

- 🔍 バージョンにご留意ください
- 🔍 インストール方法
- 🔍 共用 SSL で利用する場合

バージョンにご留意ください

当ツールにてされる Movable Type のバージョンは、**6.3.7** となります。
CHM-01Z と CHM-11Z ではバージョン情報などに違いがございます。

インストール方法

- 1 【ソフトライブラリ】 タブの 【Movable Type】 をクリックします。



- 2 【Movable Type のインストール】 をクリックします。



3 【インストール】 ボタンをクリックし、表示されている URL から Movable Type の初期設定を行います。

管理画面の URL はブックマークしておくとお便利です。

Movable Type のインストール

■Movable Type について

Movable Type はシックス・アパート社のウェブログです。誰でも簡単にウェブサイトを構築できます。また、Movable Type はカスタマイズ性に優れており企業サイトとしての利用も盛んです。

■ユーザー・ライセンスについて

ユーザー・ライセンスを追加する場合は、[マイページ](#) からお申し込みください。

インストール / アンインストール	
現在のステータス	インストールされていません
データベースの利用	MySQL を利用する
データベース名
データベースパスワード
<input type="button" value="インストール"/>	

共用 SSL で利用する場合

共用 SSL を利用して Movable Type をご利用される場合は、インストーラーでサーバー上に展開されるファイルの一部を編集する必要があります。

編集対象ファイル

[html/cmt/mt-config.cgi](#)

ファイル内の編集箇所 (2 箇所)

1 CGIPath を以下のように編集してください

`http://IP アドレス/cmt/`



`https://共用 SSL URL/cmt/`

2 StaticWebPath を以下のように編集してください

`http://IP アドレス/cmt/mt-static`



`https://共用 SSL URL/cmt/mt-static`

その後、Movable Type のインストーラーの URL にアクセスして、設定を進めてください。

URL : `https://共用 SSL URL/cmt/mt.cgi`

URL はコントロールパネルには表示されませんので、お客さまにてお手元にお控えください。

管理画面ログインと初期設定

❗ 重要

Movable Type をインストールしていないと管理画面にはアクセスできません。

1 ログイン画面アクセスすると、以下のような設定画面が表示されます。

管理画面にログインするためのユーザー名、パスワードや、メールアドレス等の各項目を設定します。設定後、【次へ】ボタンをクリックします。



The screenshot shows the 'Movable Type' account creation interface. It includes the following elements:

- Movable Type** logo and title.
- アカウントの作成** (Account Creation) section.
- Instruction: システム管理者のアカウントを作成してください。作成が完了すると、データベースを初期化します。
- Input fields for: ユーザー名 (Username), 表示名 (Display Name), 電子メール (Email).
- Checkbox: システムのメールアドレスとして利用する (Use as system email address).
- Text: このメールアドレスはMovable Typeから送られるメールの送信アドレスに利用されます。メールはパスワードの再入力、コメント投稿時の通知、コメントアウトバックアップの通知、ユーザーまたはIPアドレスのロックアウト、その他の場合に送信されます。
- Language selection: 使用言語 (Use Language) with a dropdown menu set to 日本語 (Japanese).
- Input fields for: パスワード (Password) and パスワード確認 (Confirm Password).
- Instruction: パスワードを入力してください。英数字のみ (Enter password. English and numbers only).
- A blue button labeled **次へ** (Next) is highlighted with a red box.

❗ 重要

大文字と小文字に注意して入力してください。

- 最初のブログを作成の画面にて「ウェブサイト名」「ウェブサイトURL」「ウェブサイトパス」を入力して【インストール】ボタンをクリックします。

ウェブサイト URL

ファイル名までは指定しないでください。

ウェブサイトパス

ウェブログのトップページを設定します。ホームディレクトリのフルパスを指定します。インターネット上で公開するため、/html 以下のディレクトリを指定してください。



The screenshot shows the Movable Type installation configuration page. At the top left is the Movable Type logo. Below it is the heading "最初のウェブサイトを作成" (Create your first website). A note states: "ウェブサイトを開始するには、ウェブサイトURLとファイルパスが正しく設定しなければなりません。" (To start a website, you must correctly set the website URL and file path). The form contains the following fields:

- ウェブサイト名** (Website name): Input field with "First Website" entered.
- ウェブサイトURL** (Website URL): Input field with "http://localhost/" entered.
- ウェブサイトパス** (Website path): Input field with "/usr/home/" entered. Below this field is a note: "ウェブサイトパスはウェブサーバーがウェブサイトの構築時に使うディレクトリです。ディレクトリにはウェブサーバーの書き込み権限が必要です。" (The website path is the directory used by the web server during website construction. The directory must have write permissions for the web server).
- テーマ** (Theme): Dropdown menu with "Rainier" selected.
- タイムゾーン** (Time zone): Dropdown menu with "UTC+9(日本標準時)" selected.

At the bottom of the form, there are two buttons: "インストール" (Install) and "戻る" (Back). The "インストール" button is highlighted with a red box.

3 インストール状況が表示されます。

【インストールを完了しました!】と表示されたら、【Movable Typeにサインイン】のボタンをクリックします。



4 Movable Type の管理画面に自動的にログインし、管理画面が表示されます。



パスワードを忘れた場合は

Movable Type ではパスワードを忘れてしまっても再発行できます。
パスワードはユーザーのメールアドレスに送信されます。

- 1 パスワードを忘れた場合は、ログイン画面にある【パスワードをお忘れですか?】をクリックします。



Movable Type

Movable Typeからサインアウトしました。以下から再度サインインできます。

ユーザー名

パスワード

サインイン情報を記憶する

[サインイン](#) [パスワードをお忘れですか?](#)

- 2 表示されたパスワードのリセット画面にて該当ユーザーのメールアドレスを入力し、【リセット】ボタンをクリックします。



Movable Type

パスワードのリセット

電子メール

[リセット](#) [戻る](#)

- 3 メールアドレス宛に新しいパスワード設定用の URL が送られますので、クリックします。



- 4 新しいパスワードを入力し、【変更】 ボタンをクリックするとログインできます。



Movable Type の管理

Movable Type にはユーザー・ライセンスがあります。Movable Type におけるユーザー・ライセンスとはウェブシステムに書き込みできるユーザーを指します。

Movable Type の管理では【現在のステータス】や【利用可能なユーザー・ライセンス数】をご確認いただけます。

【Movable Type の管理】をクリックします。



目次

- 🔍 Movable Type がインストールされていない時
- 🔍 Movable Type がインストールされている時

Movable Type がインストールされていない時

Movable Type の管理

現在のご利用状況	
現在のステータス	インストールされていません
利用可能 ユーザー・ライセンス数	3

■ユーザー・ライセンスについて

ユーザー・ライセンスを追加する場合は、[マイページ](#)からお申込みください。

Movable Type がインストールされている時

- 現在のステータス : インストール済みです。
- 利用可能なユーザー・ライセンス数 : 利用できるユーザー数が表示されます。
- 管理画面 URL : Movable Type の管理画面です。ブックマークしておくことをお勧めします。

Movable Type の管理

現在のご利用状況	
現在のステータス	インストール済みです
利用可能 ユーザー・ライセンス数	3
管理画面 URL	http://example.com/cmt/mt.cgi
データベース名	example_mt_database

■ユーザー・ライセンスについて

ユーザー・ライセンスを追加する場合は、[マイページ](#)からお申込みください。

ユーザー・ライセンスの追加

お申し込みはマイページからご申請ください。

1 マイページログイン

マイページ ログイン
MyPage Login

ログイン情報

マイページID

パスワード

次回からIDの入力を省略

ログイン

2 契約一覧から詳細ボタンをクリック

プラン名	[Redacted]		
ドメイン名	[Redacted]		
サーバー名	[Redacted]	契約開始日	2009-09-01
契約状態	ご契約中	契約終了日	2010-09-01

詳細

3 契約情報詳細からオプション申し込みをクリック

ご契約情報

プラン名	[Redacted]	契約状態	ご契約中
ドメイン名	[Redacted]	契約開始日	2009年09月01日
サーバー名	[Redacted]	契約終了日	2010年09月01日
エンドユーザーサポート	—	契約オプション	[Redacted]

メニュー

各種の手続き

- オプション申し込み
- ドメイン管理・移転
- プランの変更に伴うIDの更新

契約変更

- 契約プラン・期間・ドメイン変更
- 請求書発行
- メンバー契約の連携
- オプション契約の申請

その他

- コンテンツのアップロードガイド

4 オプション申し込み画面で MovableType を選択



5 申し込み約款同意画面



6 申し込み内容確認画面

オプションお申し込み

ご入力内容をご確認ください。

お申し込み情報		
MovableType[ブログ作成]	MovableType	ライセンス数：30ユーザーライセンス
ご注文時に必要な費用（税込）		
MovableType	12,000円	
合計請求額	12,000円	
サーバー情報		
契約プラン名	シェアードプラン24	
ドメイン名	example.com	

前の画面へ戻る **お申し込み**

7 申し込み完了

オプションお申し込み

お申し込みを受け付けました。ありがとうございました。

お問い合わせ先 株式会社 〇〇
ご注文いただきありがとうございます。
メールでの注文確認書は数分以内に届きますので、必ずメールボックスをお確かめください。
ご質問などございましたらご連絡なく、[お問い合わせ先](#)までお問い合わせください。

アンインストール

Movable Type を削除、初期化したいときなどにアンインストールを行います。アンインストールを実行しますと、Movable Type に関連するファイルはすべて削除されますので、ご注意ください。

❗ 重要

アンインストール実行後のデータの復旧などはいっさいお受けしていません。あらかじめご了承ください。

- 1 コントロールパネルの【ソフトライブラリ】の【Movable Type】から【Movable Type のインストール】をクリックします。

インストール済みの場合、以下のような画面が表示されますので、【アンインストール】ボタンをクリックします。

Movable Type のインストール

インストール / アンインストール	
現在のステータス	インストール済です
データベース名	*****
アンインストール	

アップグレード

[Movable Type を 6.3.7 へアップグレード](#)

Movable Type のアップグレード

CPI のコントロールパネルからインストールされた Movable Type につきましては、当機能をご利用いただくことでCPI のインストーラーで提供している新バージョンへアップグレードすることが可能です。

データベースに SQLite をご利用の場合は、ご運用中に Movable Type 6 へのアップグレードには対応しておりませんので、あらかじめご了承ください。

目次

- 🔍 Movable Type6、Movable Type5 をご利用のお客さま
- 🔍 SQLite をご利用のお客さま

Movable Type 6、Movable Type 5 をご利用のお客さま

🚨 重要

アップグレード前に、Movable Type のデータベースや、Movable Type でご利用のファイルをお客様環境（ローカル PC）に必ずバックアップしていただきますようお願いいたします。

- 1 コントロールパネルにログインし、【ソフトライブラリ】 > 【Movable Type】 > 【Movable Type のインストール】に進み、【Movable Type を 6.3.7 へアップグレード】をクリックします。

Movable Type のインストール

インストール / アンインストール	
現在のステータス	インストール済です
データベース名	mysql/movabletype
<input type="button" value="アンインストール"/>	

アップグレード

[Movable Type を 6.3.7 へアップグレード](#)

- 2 既存の「/html/cmt」配下が、「/」直下に圧縮して保存され、「/html/cmt」に新たなディレクトリやファイルが設置されます。

下記の動作を行いました。

```
/html/cmt を  
/cmt_XXXXXXXXXXXXXXXX tar.gz  
にコピーしました。
```

リンクをクリックしてアップグレードを完了させてください。

<http://XXXXXXXXXXXXXXXX.smartrelease.jp/cmt/mt-upgrade.cgi>

- 3 「/html/cmt」に設置された新たなディレクトリやファイルのうち、以下のファイルを既存のバックアップデータから置き換えてください。

参考 URL

<http://www.movabletype.jp/documentation/mt6/upgrade/files.html>

- mt-config.cgi
- plugins/ ⇒追加したプラグイン
- mt-static/plugins/ ⇒追加したプラグイン
- mt-static/support ⇒サポート ディレクトリ
- themes/ ⇒追加したテーマ

- 4 ファイルを置き換えたあと、Movable Type の管理画面にログインし【アップグレード】ボタンをクリックしアップグレードを開始します。

参考 URL

<http://www.movabletype.jp/documentation/mt6/upgrade/upgrade-wizard.html>

SQLite をご利用のお客さま

❗ 重要

アップグレード前に、Movable Type のデータベースや、Movable Type でご利用のファイルをお客様環境（ローカル PC）に必ずバックアップしていただきますようお願いします。

SQLite をご利用の場合は、MySQL へデータベースを移行する必要があります。
下記ページを参考にいただき、アップグレードをしてください。

<http://www.movabletype.jp/documentation/mt6/database/mysql-from-sqlite.html>

a-blogcms2

目次

- 📄 a-blog cms について
- 📄 インストール方法

a-blog cms について

柔軟な管理ページのカスタマイズやカスタムフィールドのデザインの自由度の高さに富んだ CMS です。標準で、複数ステップのフォーム作成を可能にしており、静的なサイトからの移行が容易に可能です。

バージョンにご留意ください

当ツールにてインストールされる a-blog cms のバージョンは **2.7.34** となります。

機能・利用方法のサポートについて

CPI のサポートは a-blog cms のインストーラーを使用したインストールまでとなります。あらかじめご了承ください。

[a-blog cms 公式サイト](#)

インストールに当たっての制約事項

- ・以下のディレクトリにはインストールできません
 - .htaccess の存在するディレクトリ
 - アクセス制御 (BASIC 認証) をご利用いただいているディレクトリ
- ・本インストーラーでインストールされる a-blog cms のライセンスはお試し版ライセンスとなります。本利用される場合は、開発販売元の [有限会社アップルアップル様](#) からライセンスの購入をお願いいたします。お試し期間は 60 日間となります。

インストール方法

- 1 コントロールパネルの「CMS インストーラー」から a-blog cms を選択します。

CMS インストーラー このページのヘルプ

簡単インストーラー付きCMSを大幅アップ！
国内外の有償・無償版から、お客様の使用目的にあったCMSをお選びいただけます。

 [CMSのアンインストールはこちら](#)

簡単インストーラー対応CMS一覧

	豊富なプラグインや高度な編集機能を備えている人気のCMSで、サポート情報も充実しています。
	CMSの運営者だけでなく、Web制作者の使いやすさも考慮して開発されたCMSです。
	PHPによる動的なページ生成が可能で、サードパーティ製のプラグインが豊富にそろっています。

- 2 インストール先ディレクトリを指定し、「確認事項に同意の上インストールする」ボタンをクリックします。

CMSインストール先ディレクトリ

/home/xxxxxxxxxxxx/html/



[確認事項に同意の上インストールする](#)

3 URL をクリックし、インストール画面に進みます。

a-blog cms このページのヘルプ

CMS の構成ファイルを、公開サイトに設置しました。
CMS のインストールに必要な情報を、サーバーご契約時にご登録いただいたメールアドレス宛に送信しました。

[設定手順]

以下の URL にアクセスし、初期設定に進みます。

SSL 未設定の方はこちら
[http://\[ドメイン\].secure.ne.jp/index.php](http://[ドメイン].secure.ne.jp/index.php)
[http://www.\[ドメイン\].secure.ne.jp/index.php](http://www.[ドメイン].secure.ne.jp/index.php)
独自ドメイン SSL の方はこちら
[https://\[ドメイン\].secure.ne.jp/index.php](https://[ドメイン].secure.ne.jp/index.php)
[https://www.\[ドメイン\].secure.ne.jp/index.php](https://www.[ドメイン].secure.ne.jp/index.php)

CMS で利用するデータベースも新規で作成されています。
CMS の初期設定画面でデータベース名が必要な場合は、以下をご利用ください。
データベース名: [ドメイン].secure.ne.jp (MySQL5.6)

4 「動作環境のチェックを実行する」ボタンをクリックします。

a-blog cms セットアップ インストール

a-blog cmsをダウンロードいただき、ありがとうございます。

a-blog cms Ver.2.7.34を事前にインストールします。このインストールウィザードに沿って作業を進めると、インストールのために必要な設定をおこなうことができます。

インストールウィザードの設定内容

このインストールウィザードで設定する内容は、以下のとおりです。

- 動作環境のチェック
- ドメインの設定
- データベースの設定
- テーブルの作成
- ブログとユーザーの設定

事前準備

インストールウィザードを始める前に、以下の準備をしてください。

- ✓ ご利用のサーバーがa-blog cmsの動作条件を満たしているか確認してください。
- ✓ config.server.php のパーミッションを 読み書き可能 に設定してください。
- ✓ archives, archives_rev, cache ディレクトリのパーミッションを 読み書き可能 に設定してください。
- ✓ MySQLデータベースの「サーバー名」、「データベース名」、「ユーザー名」、「パスワード」を代入してください。*
- ✓ ルートディレクトリおよび、archive, archives_rev, cache, private, themesディレクトリの.htaccess.txtの名前を変更して、.htaccessに変更してください。

(※読み書き可能なパーミッションの設定は、サーバーの設定に依存します。)
(※データベースはサービスによっては契約時に用意されていますが、サービスの管理ページで作成する必要がある事もあります。)

準備ができたなら、 動作環境のチェック を実行します。

Step1: 動作環境のチェックを実行する

5 「ドメインの設定に進む」ボタンをクリックします。

blog cms セットアップ インストール

1 動作環境のチェック

動作環境のチェックを実行しました。

PHPのバージョン

✓ ご利用の環境のPHPのバージョンは「7.0.32」です。

パーミッション

✓ config.server.phpのパーミッションは、正しく設定されています。
✓ ファイルのアップロード用のディレクトリのパーミッションは、正しく設定されています。

GD

✓ GDを利用する設定になっています。

htaccess

✓ ルートディレクトリのhtaccessは有効化されています。
archives, private, themesディレクトリ内のhtaccessは必須ではありませんが、有効化を強くお勧めします。

動作環境のチェックを完了しました。2 ドメインの設定に進みます。

Step2 | ドメインの設定に進む

6 「ドメイン名」を確認し、「ドメインを設定する」ボタンをクリックします。

blog cms セットアップ インストール

2 ドメインの設定

ここでは、ドメインの設定を行います。ご利用のドメイン名を入力し、[ドメインを設定する]ボタンをクリックしてください。ドメインが既述している場合、次のステップに進むことができません。入力欄をご確認の上、設定してください。

ドメイン名

ドメインを設定する

7 「データベースの設定に進む」ボタンをクリックします。

blog cms セットアップ インストール

3 データベースの設定

選んだドメインで設定されていると、次のステップに進むことができません。次のステップに進めなかった場合は、セットアップを最初からやり直してください。

データベース名

Step3 | データベースの設定に進む

8 各項目に値を入力し、「データベースを設定する」をクリックします。

blog cms セットアップ インストール

1 動作環境のチェック 2 ドメインの設定 3 データベースの設定 4 テーブルの内容 5 アプリの設定

3 データベースの設定

ここでは、データベース等の設定を行います。データベース等の情報を入力し、[データベースを設定する]ボタンをクリックしてください。

データベースの設定

データベースサーバー名
"localhost"のようにポート番号を設定することができます。"/path/to/socket"のようにソケットを設定することも可能です。
127.0.0.1

データベース名
 データベースが存在しなかった場合に、指定された名前で作成する (CREATE権限が必要です)

データベースユーザー名

データベースパスワード
今、あなたのブラウザに、警告があるか、次の画面で入力したパスワードが見えてしまいます。ご注意ください。

テーブル先頭文字列
bctyl_

データベース文字コード
UTF-8

データベースを設定する

データベースサーバー名	あらかじめ入力された状態になっています。
データベース名	あらかじめ入力された状態になっています。
データベースユーザー名	あらかじめ入力された状態になっています。
データベースパスワード	データベースのパスワード

※ データベース先頭文字列、データベース文字コードは変更不要です。

11 各項目を入力し、「ブログとユーザーを設定する」をクリックします。

blog cms セットアップ インストール

1 ブログとユーザーの設定

ここでは、ブログとユーザーの設定を行います。ブログとユーザーに関する情報を入力し、(ブログとユーザーを設定する)ボタンをクリックしてください。

ブログの設定

ブログの名前
a-blog cms

インストール時の初期テーマ
多くの機能を実装した方は site2016、カスタマイズしたい方は simple2016 を選択されることをおすすめします。(テーマは変更)

simple2016 site2016 bootstrap2016 blog2016

ユーザーの設定

ユーザー名 (ブログ内で名前を表示する際に利用します。日本語でもかまいません。)

メールアドレス (パスワードが分からなくなった際に通知する宛を設定します。)

ユーザーID (半角英数字で設定してください。)

パスワード (半角英数字で設定してください。)
※、英数字のみに、漢字がけると、半角英数字で入力したパスワードが混入してしまいます。ご注意ください。

ブログとユーザーを設定する

12 セットアップ完了です。

管理画面へログインし、設定をご実施ください。
なお、"setup" ディレクトリは必ず削除してください。
FTP をお使いいただくことで削除可能です。

blog cms セットアップ インストール

5 ブログの設定

セットアップ完了! お疲れさまでした!

設定した項目

ブログの名前
✓ a-blog cms

ブログのテーマ
✓ simple2016

ユーザー名
✓ [redacted]

メールアドレス
✓ [redacted]

ユーザーID
✓ [redacted]

パスワード
✓ [redacted]

お疲れさまでした! セットアップが完了しました。
setupディレクトリを削除するかリネームしてください。削除またはリネームするまで他ページにアクセス出来ません。
setupディレクトリをリネームしてログイン画面に移動します。
setupディレクトリを [redacted] に変更してログインページに 移動

それでは、あなたのサイトに早速アクセスしてみましょう!
トップページ: [redacted]
管理ログイン: [redacted]/login/

WordPress

目次

- WordPress について
- インストール方法

WordPress について

WordPress は、PHP + MySQL ベースの blog 系 CMS です。

データベースと連動して動的なページ生成を行うため、ブログを更新する度に Web ページを再構築するといったような事は必要ありません。

他に、Movable Type 形式のログのインポート機能、RSS フィード機能 (RSS 1.0, RSS 2.0) が利用できます。

バージョンにご留意ください

WordPress のバージョンは **4.9.8** となります。

最新のバージョンが公開されている場合は、最新版をご利用ください。

機能・利用方法はサポート対象外です

WordPress の機能および利用方法、バージョンアップ方法などについてのサポートは行っておりません。

利用方法等につきましては、公式サイトまたは関連書籍をご参照ください

インストールに当たっての制約事項

- 以下のディレクトリにはインストールできません
 - .htaccess の存在するディレクトリ
 - アクセス制御 (BASIC 認証) をご利用いただいているディレクトリ
- サーバー移転中のお客様は、移転完了までインストールできません。この原因は、URL と IP アドレスの関係が更新されていないためですのでご了承ください。
- 2015/11/25 以降に新たにインストールをした WordPress には以下のプラグインが追加されています。プラグインの設定方法は CPI ではサポートしておりません。
 - Limit Login Attempts (インストール時プラグインは有効化されています)
 - SiteGuard WP Plugin (インストール時無効化されています)

インストール方法

- 1 コントロールパネルの「CMS インストーラー」から WordPress を選択します。

CMS インストーラー このページのヘルプ

簡単インストーラー付きCMSを大幅アップ！
国内外の有償・無償版から、お客様の使用目的にあったCMSをお選びいただけます。

 [CMSのアンインストールはこちら](#)

簡単インストーラー対応CMS一覧

	豊富なプラグインや高度な編集機能を備えている人気のCMSで、サポート情報も充実しています。
	CMSの運営者だけでなく、Web制作者の使いやすさも考慮して開発されたCMSです。
	PHPによる動的なページ生成が可能で、サードパーティ製のプラグインが豊富にそろっています。

- 2 インストール先ディレクトリを指定し、「確認事項に同意の上インストールする」ボタンをクリックします。

CMSインストール先ディレクトリ

/home/ /html/



[確認事項に同意の上インストールする](#)

3 URL をクリックし、インストール画面に進みます。

WordPress

[このページのヘルプ](#)

CMS の構成ファイルを、公開サイトに設置しました。
CMS のインストールに必要な情報を、サーバーご契約時にご登録いただいたメールアドレス宛に送信しました。

[設定手順]

以下の URL にアクセスし、初期設定に進みます。

SSL 未設定の方はこちら
[http://\[redacted\].secure.ne.jp/wp/index.php](http://[redacted].secure.ne.jp/wp/index.php)
[http://www.\[redacted\].secure.ne.jp/wp/index.php](http://www.[redacted].secure.ne.jp/wp/index.php)
独自ドメイン SSL の方はこちら
[https://\[redacted\].secure.ne.jp/wp/index.php](https://[redacted].secure.ne.jp/wp/index.php)
[https://www.\[redacted\].secure.ne.jp/wp/index.php](https://www.[redacted].secure.ne.jp/wp/index.php)

CMS で利用するデータベースも新規で作成されています。
CMS の初期設定画面でデータベース名が必要な場合は、以下をご利用ください。
データベース名: [redacted] (MySQL5.6)

4 「さあ、始めましょう！」 ボタンをクリックします。



WordPress へようこそ。作業を始める前にデータベースに関するいくつかの情報が必要となります。以下の項目を準備してください。

1. データベース名
2. データベースのユーザー名
3. データベースのパスワード
4. データベースホスト
5. データベースの接続辞 (1つのデータベースに複数の WordPress を作動させる場合)

この情報は wp-config.php ファイルを作成するために使用されます。もし何かが原因で自動ファイル生成が動作しなくても心配しないでください。この機能は設定ファイルにデータベース情報を記入するだけです。テキストエディターで wp-config-sample.php を開き、データベース情報を記入し、wp-config.php として保存することもできます。さらに手助けが必要ですか？[わかりました。](#)

おそらく、これらのデータベース情報はホスティング先から提供されています。データベース情報がわからない場合、作業を続ける前にホスティング先と連絡を取ってください。すべての準備が整っているなら...

さあ、始めましょう！

5 「送信」ボタンをクリックします。



以下にデータベース接続のための詳細を入力してください。これらのデータについて分からない点があれば、ホストに連絡を取ってください。

データベース名 WordPress で使用したいデータベース名。

ユーザー名 データベースのユーザー名。

パスワード データベースのパスワード。

データベースのホスト名 localhost が動作しない場合には Web ホストからこの情報を取得することができます。

テーブル接頭辞 ひとつのデータベースに複数の WordPress をインストールしたい場合、これを定めてください。

データベース名	データベース名はあらかじめ入力された状態になっています。(データベース名はインストール開始後にコントロールパネル上に表示されます。また、サーバーご契約時にご登録いただいたメールアドレス宛に情報は送信されます。)
ユーザー名	ユーザー名はあらかじめ入力された状態になっています。
パスワード	MySQL のデータベースのパスワードを入力します。 サーバーを利用するための設定完了メールに記載されている データベースのパスワード または コントロールパネルの初期パスワード を入力してください。
データベースのホスト名	127.0.0.1
テーブル接頭辞	wp_

6 「インストール実行」 ボタンをクリックします。



7 WordPress を管理するための情報を登録して「WordPress をインストール」 ボタンをクリックします。

サイトのタイトル	サイトのタイトルを入力します。
ユーザー名	WordPress へログインするためのユーザー名はあらかじめコントロールパネルのユーザー ID が入力された状態になっています。ユーザー名はお客様が任意で設定することができます。
パスワード	あらかじめ複雑なパスワードが入力された状態になっています。「隠す」ボタンをクリックすると非表示にすることができます。お客様の任意のパスワードに変更することが可能ですが、できるだけ第三者に推測されづらい（強度の高い）パスワードを設定してください。
メールアドレス	メールアドレスを入力します。

8 以上で WordPress のインストールは完了です。

ログインボタンをクリックします。



9 手順【7】で設定した WordPress のユーザー名とパスワードを入力しログインボタンをクリックします。



❗ 重要

データベースのユーザー名とパスワードではログインできません。

WordPress のバージョン確認、アップデート方法

目次

- ④ 現在のバージョン確認方法
- ④ アップデート方法

現在のバージョン確認方法

- 1 管理者権限のアカウントで WordPress にログインします。



The image shows a screenshot of the WordPress login form. It features two input fields: the top one is labeled 'ユーザー名またはメールアドレス' (Username or email address) and the bottom one is labeled 'パスワード' (Password). Below the password field is a checkbox labeled 'ログイン状態を保存する' (Remember me). To the right of the checkbox is a blue button labeled 'ログイン' (Login).

- 2 画面左上の WordPress のマーク「W」にカーソルを合わせて、「WordPress について」をクリックします。



- 3 現在のバージョンが表示されます。



アップデート方法

❗ 重要

必ずアップデートする前に、サイトのバックアップを取っていただきますようお願いします。

- 1 管理者権限のアカウントで WordPress にログインし、メニューから「ダッシュボード」⇒「更新」の順にクリックします。



- 2 「WordPress」本体や「プラグイン」、「テーマ」に対して、更新項目が表示されますので、最新バージョンのアップデートしてください。



❗ 重要

アップデート後、お客様サイトが正常に表示されているか、ご確認いただきますようお願いします。

concrete5

目次

- 📄 concrete5 について
- 📄 インストール方法

concrete5 について

concrete5 は、記事の追加や修正が管理画面ではなくホームページ上で行うことができ、直感的な操作での編集が可能のため、ウェブ制作の知識があまりない人にも操作ができるように設計されています。

バージョンにご留意ください

当ツールにてインストールされる concrete5 のバージョンは以下となります。

CHM-01Z が [concrete5.7.5.13 & 5.6.3.5](#)

CHM-11Z が [concrete5.7.5.13](#)

最新のバージョンが公開されている場合は、最新版をご利用ください。

CHM-01Z と CHM-11Z ではバージョン情報などに違いがございます。

⇒ [ご契約中のプランが CHM-01Z か CHM-11Z か確認する](#)

機能・利用方法はサポート対象外です。

concrete5 の機能および利用方法、バージョンアップ方法などについてのサポートは行っておりません。利用方法等につきましては、公式サイトまたは関連書籍をご参照ください。

- [日本語公式サイト](#)
- [日本語公式コミュニティー](#)

concrete5 は Concrete CMS, Inc の登録商標です。

インストールに当たっての制約事項

- 以下のディレクトリにはインストールできません
 - .htaccess の存在するディレクトリ
 - アクセス制御 (BASIC 認証) をご利用いただいているディレクトリ
- サーバー移転中のお客様は、移転完了までインストールできません。この原因は、URL と IP アドレスの関係が更新されていないためですのでご了承ください。

インストール方法

- 1 コントロールパネルの「CMS インストーラー」から concrete5 を選択します。



▶ CMSのアンインストールはこちら

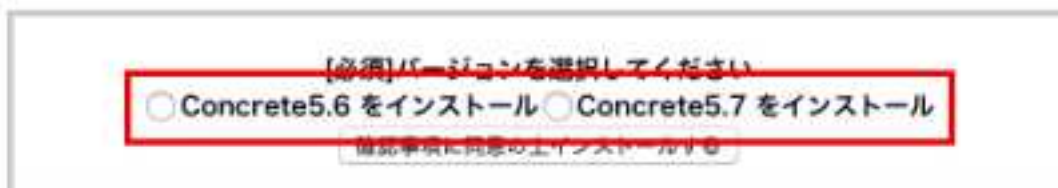
簡単インストーラー対応CMS一覧

	豊富なプラグインや高度な編集機能を備えている人気のCMSで、サポート情報も充実しています。
	CMSの運営者だけでなく、Web制作者の使いやすさも考慮して開発されたCMSです。
	PHPによる動的なページ生成が可能で、サードパーティ製のプラグインが豊富にそろっています。
concrete5	追加・修正をホームページ上で行うことができる直感的な操作での編集が可能なCMSです。
	国産のネットショップ構築システムとして人気のCMSで、日本語情報が充実しているのが魅力です。
	画面表示が早く軽快な動作が魅力のCMSです。モジュールの追加により機能拡張が可能です。
	ツリー構造により、情報設計・導線設計がしやすい、コンテンツ管理機能に優れた国産CMSです。

- 2 インストール先ディレクトリを指定し、インストールするバージョンを選択し、「確認事項に同意の上インストールする」ボタンをクリックします。



※CHM-01Z をご利用の場合は、インストールするバージョンをお選びいただけます。



- 3 URL をクリックし、インストール画面に進みます。



- 4 コントロールパネルからインストール後、セットアップを開始します。言語の選択画面します。



現在インストール中のバージョン情報が表示されます。
※画像では version 5.7.5.13 をインストールしています。

- 5 「インストールを続ける」ボタンをクリックします。



6 各項目を入力し、「concrete5をインストール」ボタンをクリックします。

サイト名	concrete5 で作成するサイト名です。
メールアドレス	管理者メールアドレスを入力します。
パスワード	concrete5 のログイン用パスワードを入力します。
パスワード確認	上段と同じパスワードを入力します。
サーバー	あらかじめ入力された状態になっています。
MySQLユーザー名	コントロールパネルのログイン ID
MySQLパスワード	コントロールパネルの初期のログインパスワード
データベース名	あらかじめ入力された状態になっています。
サンプルコンテンツ	どちらかにチェックを入れてください。

7 以上で concrete5 のインストールは完了です。

concrete5をインストール

バージョン 5.7.5.13

おめでとうございます！ concrete5が無事にインストールされました。あなたは入力したパスワードで管理画面としてログイン中です。パスワードを変更する場合は、管理画面のユーザー設定から行ってください。

サイトを閉く

EC-CUBE

EC CUBE2

⇒[EC-CUBE2](#) をお使いの方はコチラ

EC CUBE3

⇒[EC-CUBE3](#) をお使いの方はコチラ

CHM-1Z は、EC-CUBE3 のみのご提供となります。

CHM-01Z と CHM-11Z ではバージョン情報などに違いがございます。

EC-CUBE2 のインストール

目次

- ④ EC-CUBE について
- ④ インストール方法

EC-CUBE について

オープンソースの EC サイト構築システムで、ドラッグ&ドロップによるレイアウト変更によりデザインを簡単に変更できます。モバイル向けサイトの構築も可能で、3キャリアに対応した商品ページを自動生成できます。

バージョンにご留意ください

当ツールにてインストールされる EC-CUBE のバージョンのバージョンは、**2.13.5** です。

※CHM-11Z ではご利用になれません。

最新バージョンのインストーラは、弊社では提供しておりません。

機能・利用方法はサポート対象外です

EC-CUBE の機能および利用方法、バージョンアップ方法などについてのサポートは行っておりません。

利用方法等につきましては、公式サイトまたは関連書籍をご参照ください。

インストールに当たっての制約事項

■以下のディレクトリにはインストールできません

- ・.htaccess の存在するディレクトリ
- ・アクセス制御 (BASIC 認証) をご利用いただいているディレクトリ

■サーバー移転中のお客様は、移転完了までインストールできません。この原因は、URL と IP アドレスの関係が更新されていないためです。ご了承ください。

インストール方法

- 1 バージョンの選択で **EC-CUBE2** をインストールにチェックをしてインストールを開始します。

[必須]バージョンを選択してください

EC-CUBE2をインストール EC-CUBE3をインストール

確認事項に同意の上インストールする

- 2 コントロールパネルからインストール後、インストールを開始します。「次へ進む」をクリックします。

EC CUBE

EC-CUBEのインストールを開始します。

次へ進む

3 アクセス権限の確認です。「次へ進む」をクリックします。



4 必要なファイルのがコピーされます。「次へ進む」をクリックします。



- 5 EC サイトと WEB サーバーの設定です。各項目を入力して「次へ進む」をクリックします。

The screenshot shows the 'EC CUBE' administration interface. The 'EC Site Settings' section includes the following fields:

- 店名**: test shop
- メールアドレス**: sample@example.com
- ログインID**: [Redacted]
- パスワード**: [Redacted]

The 'Management Function Settings' section includes:

- ディレクトリ**: [Redacted]
- SSL制御**: SSLを強制する。
- IP制御**: [Redacted]

The 'Web Server Settings' section includes:

- URL(通常)**: http://[Redacted].secure.ne.jp/html/
- URL(セキュア)**: http://[Redacted].secure.ne.jp/html/
- 共通ドメイン**: [Redacted]

At the bottom, there are buttons for '前へ戻る' (Previous) and '次へ進む' (Next).

- EC サイトの設定

店名	EC サイトの店名を入力します。
管理者：メールアドレス	管理者メールアドレスを入力します。
管理者：ログイン ID	管理者画面にログインするための ID です。 半角英数字 4 ～ 50 文字で指定してください。
管理者：パスワード	管理者画面にログインするためのパスワードです。 半角英数字 4 ～ 50 文字で指定してください。

- 管理機能の設定

ディレクトリ	管理者画面のディレクトリ名です。 半角英数字 4～50 文字で指定してください。
SSL 制限	管理機能へのアクセスを SSL 経由の接続に制限する場合にチェックを入れます。
IP 制限	管理機能へのアクセスを特定の IP アドレスからの接続のみに制限することができます。

- WEBサーバーの設定

URL (通常)	http://ドメイン名/インストールディレクトリ/html/
URL (セキュア)	http://ドメイン名/インストールディレクトリ/html/
共通ドメイン	空欄

❗ 重要

■EC CUBE は共用 SSL では利用することができませんので、
URL (通常)、URL (セキュア) は同じ情報を入力してください。

■独自ドメインの SSL ではご利用いただけます。
この場合 URL (セキュア) は「https://ドメイン名/インストールディレクトリ/html/」となります。

6 データベースの設定です。各項目を入力して次へ進むをクリックします。

データベースの設定

※インストールの前に新しくDBを作成しておく必要があります。

DBの種類※	MySQL
DBサーバー	127.0.0.1
ポート	
DB名※	XXXXXXXXXX
DBユーザ※	XXXXXXXXXX
DBパスワード※	XXXXXXXXXX

前へ戻る 次へ進む

DBの種類	MySQL
DBサーバー	127.0.0.1
ポート	3306
DB名	コントロールパネルのログインID (ユーザーID)_ec-cube00xx
DBユーザ	コントロールパネルのログインID
DBパスワード	コントロールパネルの初期ログインパスワード

7 データベースの初期化の設定です。

初期化しない場合は、データベースの初期化処理を行わないにチェックを入れて「次へ進む」をクリックします。

データベースの初期化

接続情報:
MySQL 5.6.30 データベースの初期化を開始します。
※すでにテーブル等が作成されている場合は中断されます。

データベースの初期化処理を行わない

前へ戻る 次へ進む

8 データベースの初期化です。初期化を開始する場合は、「次へ進む」をクリックします。

データベースの初期化

データベースの初期化を開始します。
※すでにテーブル等が作成されている場合は中断されます。

データベースの初期化処理を行わない

○: テーブルの作成に成功しました。
○: 初期データの作成に成功しました。
○: シーケンスの作成に成功しました。

前へ戻る 次へ進む

9 サイト情報の情報提供確認画面です。

差し支えなければはい(推奨)を選択し、「次へ進む」をクリックします。



The screenshot shows the EC-CUBE installation interface. At the top right is the EC-CUBE logo. The main heading is "サイト情報について" (About Site Information). Below it, a message states: "EC-CUBEのシステム向上及び、デバッグのため以下の情報のご提供をお願いいたします。" (For EC-CUBE system improvement and debugging, we request you to provide the following information). A grey box contains the following details: "サイトURL : http://[redacted].secure.ne.jp/html/", "店名 : test shop", "EC-CUBEバージョン : 2.13.5", "PHP情報 : 5.5.27", "DB情報 : MySQL 5.6.30", and "OS情報 : [redacted]". Below this box are two radio buttons: "はい(推奨)" (Yes (Recommended)) which is selected, and "いいえ" (No). At the bottom, there are two buttons: "前へ戻る" (Previous) and "次へ進む" (Next), with the "次へ進む" button highlighted by a red rectangle.

10 以上で EC-CUBE のインストールは完了です。「管理画面へログインする」をクリックします。



The screenshot shows the EC-CUBE installation completion screen. At the top right is the EC-CUBE logo. The main heading is "EC CUBE インストールが完了しました。" (EC-CUBE installation is complete). Below it, a message states: "管理画面にログインできます。先ほど登録したID、パスワードを用いてログインしてください。" (You can log in to the management screen. Please log in using the ID and password you registered just now). At the bottom, there is a button labeled "管理画面へログインする" (Log in to management screen), which is highlighted by a red rectangle.

11 EC-CUBE の管理画面のログイン画面です。



インストール中に設定したIDとパスワードを入力して「LOGIN」ボタンをクリックしてください。

POINT

- インストール後は、FTPクライアントソフト等を使用して、/install/index.php ファイルを削除してください。
- 削除されるまでは警告のメッセージが表示されます。

12 EC-CUBE の管理画面が表示されます。



EC-CUBE3 のインストール

目次

- ④ EC-CUBE について
- ④ インストール方法

EC-CUBE について

オープンソースの EC サイト構築システムで、ドラッグ&ドロップによるレイアウト変更によりデザインを簡単に変更できます。

モバイル向けサイトの構築も可能で、3キャリアに対応した商品ページを自動生成できます。

バージョンにご留意ください

当ツールにてインストールされる EC-CUBE のバージョンは EC-CUBE **3.0.16** です。
最新のバージョンが公開されている場合は、最新版をご利用ください。

機能・利用方法はサポート対象外です

EC-CUBE の機能および利用方法、バージョンアップ方法などについてのサポートは行っておりません。
利用方法等につきましては、公式サイトまたは関連書籍をご参照ください。

インストールに当たっての制約事項

- 以下のディレクトリにはインストールできません
 - .htaccess の存在するディレクトリ
 - アクセス制御 (BASIC 認証) をご利用いただいているディレクトリ
- サーバー移転中のお客様は、DNS 情報の変更/浸透が完了するまでは正常に動作いたしません。この原因は、URL と IP アドレスの関係が更新されていないためですのでご了承ください。

インストール方法

- 1 コントロールパネルの「CMS インストーラー」から EC-CUBE を選択します。



▶ CMSのアンインストールはこちら

簡単インストーラー対応CMS一覧

	豊富なプラグインや高度な編集機能を備えている人気のCMSで、サポート情報も充実しています。
	CMSの運営者だけでなく、Web制作者の使いやすさも考慮して開発されたCMSです。
	PHPによる動的なページ生成が可能で、サードパーティ製のプラグインが豊富にそろっています。
	追加・修正をホームページ上で行うことができる直感的な操作での編集が可能なCMSです。
	国産のネットショップ構築システムとして人気のCMSで、日本語情報が充実しているのが魅力です。
	画面表示が早く軽快な動作が魅力のCMSです。モジュールの追加により機能拡張が可能です。
	ツリー構造により、情報設計・導線設計がしやすい。コンテンツ管理機能に優れた国産CMSです。

- 2 インストール先ディレクトリを指定し、「確認事項に同意の上インストールする」ボタンをクリックします。



CMSインストール先ディレクトリ

/home/username/html/

確認事項に同意の上インストールする

3 URL をクリックし、インストール画面に進みます。

EC-CUBE このページのヘルプ

CMS の構成ファイルを、公開サイトに設置しました。
CMS のインストールに必要な情報を、サーバーご契約時にご登録いただいたメールアドレス宛に送信しました。

[設定手順]

以下の URL にアクセスし、初期設定に進みます。

SSL 未設定の方はこちら
[http://\[ドメイン\]secure.ne.jp/html/install.php](http://[ドメイン]secure.ne.jp/html/install.php)
[http://www.\[ドメイン\]secure.ne.jp/html/install.php](http://www.[ドメイン]secure.ne.jp/html/install.php)
独自ドメイン SSL の方はこちら
[https://\[ドメイン\]secure.ne.jp/html/install.php](https://[ドメイン]secure.ne.jp/html/install.php)
[https://www.\[ドメイン\]secure.ne.jp/html/install.php](https://www.[ドメイン]secure.ne.jp/html/install.php)

CMS で利用するデータベースも新規で作成されています。
CMS の初期設定画面でデータベース名が必要な場合は、以下をご利用ください。
データベース名: [ドメイン].[ドメイン].[ドメイン] (MySQL5.6)

4 「次へ進む」 ボタンをクリックします。

1 よろこび
2 権限チェック
3 サイトの設定
4 データベースの設定
5 データベースの移行
6 インストール完了

ようこそ

EC-CUBEのインストールを開始します。
お知らせ、設定するデータベースの情報 (名前など) をご確認ください。

EC-CUBEのインストール完了後は、サイト情報の種類に応じて設定が必要になります。
設定は必ず利用することをおすすめします。
(ドキュメント: 設定手順、管理者ツール、お問い合わせ)

次へ進む

5 「次へ進む」ボタンをクリックします。



6 各項目を入力して「次へ進む」ボタンをクリックします。



EC サイトの設定

店名	EC サイトの店名を入力します。
管理者：メールアドレス	管理者メールアドレスを入力します。
管理者：ログイン ID	管理者画面にログインするための ID です。 半角英数字 4 ~ 50 文字で指定してください。
管理者：パスワード	管理者画面にログインするためのパスワードです。 半角英数字 4 ~ 50 文字で指定してください。
ディレクトリ	管理者画面のディレクトリ名です。 半角英数字 4 ~ 50 文字で指定してください。

7 各項目を入力して「次へ進む」ボタンをクリックします。

データベースの設定

データベースの種類 *

MySQL

データベースのホスト名 *

127.0.0.1

ポート番号 *

3306

データベース名 *

ユーザー名_ec-cube00xx

ユーザー *

パスワード *

次へ進む

前に戻る

データベースの種類	MySQL
データベースサーバー	127.0.0.1
ポート	3306
データベース名	ユーザー名_ec-cube00xx
データベースユーザ	サーバー設定完了メールに記載のあるデータベース情報のユーザー名
データベースパスワード	データベースのパスワード

8 データベースの初期化の設定です。

※『データベースの初期化処理を行わない』にはチェックを入れないでください。

データベースの初期化

データベースの初期化を行います。初期化には少し時間がかかる場合があります。
すでにテーブル等が作成されている場合は中断されます。

旧バージョンをインストールしていて、既存の情報を削除したくない場合はチェックをいれてください。

データベースの初期化を行わない

次へ進む

前に戻る

- 9 以上で EC-CUBE のインストールは完了です。管理画面のリンクをクリックします。



- 10 EC-CUBE の管理画面のログイン画面です。



インストール中に設定した ID とパスワードを入力して「ログイン」ボタンをクリックしてください。

❗ 重要

- ・インストール後は、FTP クライアントソフト等を使用して、/install/index.php ファイルを削除してください。
- ・削除されるまでは警告のメッセージが表示されます。

Drupal

目次

- 🔍 [Drupal について](#)
- 🔍 [インストール方法](#)

Drupal について

米国の「オープンソースCMS アワード」にて2年連続1位を受賞し、海外では有名な無料のCMSです。ブログや掲示板、ゲストブック、投票機能、イベントカレンダーなど充実した機能を持っています。

インストール方法

Drupal [バージョン7](#)のインストール方法は [⇒コチラ](#)

Drupal [バージョン8](#)のインストール方法は [⇒コチラ](#)

最新のバージョンが公開されている場合は、最新版をご利用ください。

❗ 重要

CHM-11Z は、Drupal [バージョン8](#)のみとなります。

CHM-01Z と CHM-11Z ではバージョン情報などに違いがございます。

⇒ [ご契約中のプランが CHM-01Z か CHM-11Z か確認する](#)

機能・利用方法はサポート対象外です

Drupal の機能および利用方法、バージョンアップ方法などについてのサポートは行っておりません。利用方法等につきましては、公式サイトまたは関連書籍をご参照ください。

[Drupal 公式サイト \(英語\)](#)

[Drupal 公認日本サイト](#)

Drupal のインストール (バージョン 7)

ここでは Drupal **バージョン 7.60** のインストール方法について説明します。
バージョン 8.5.8 のインストール方法は [⇒コチラ](#)をご覧ください

CHM-11Z では Drupal 7 系はご提供しておりません。
[⇒ ご契約中のプランが CHM-01Z か CHM-11Z か確認する](#)

目次

- 🔍 インストールに当たっての制約事項
- 🔍 インストール方法

インストールに当たっての制約事項

- 以下のディレクトリにはインストールできません
 - .htaccess の存在するディレクトリ
 - アクセス制御 (BASIC 認証) をご利用いただいているディレクトリ
- サーバー移転中のお客様は、移転完了までインストールできません。
この原因は、URL と IP アドレスの関係が更新されていないためですのでご了承ください。

インストール方法

1 「Drupal 7 をインストール」を選択してください

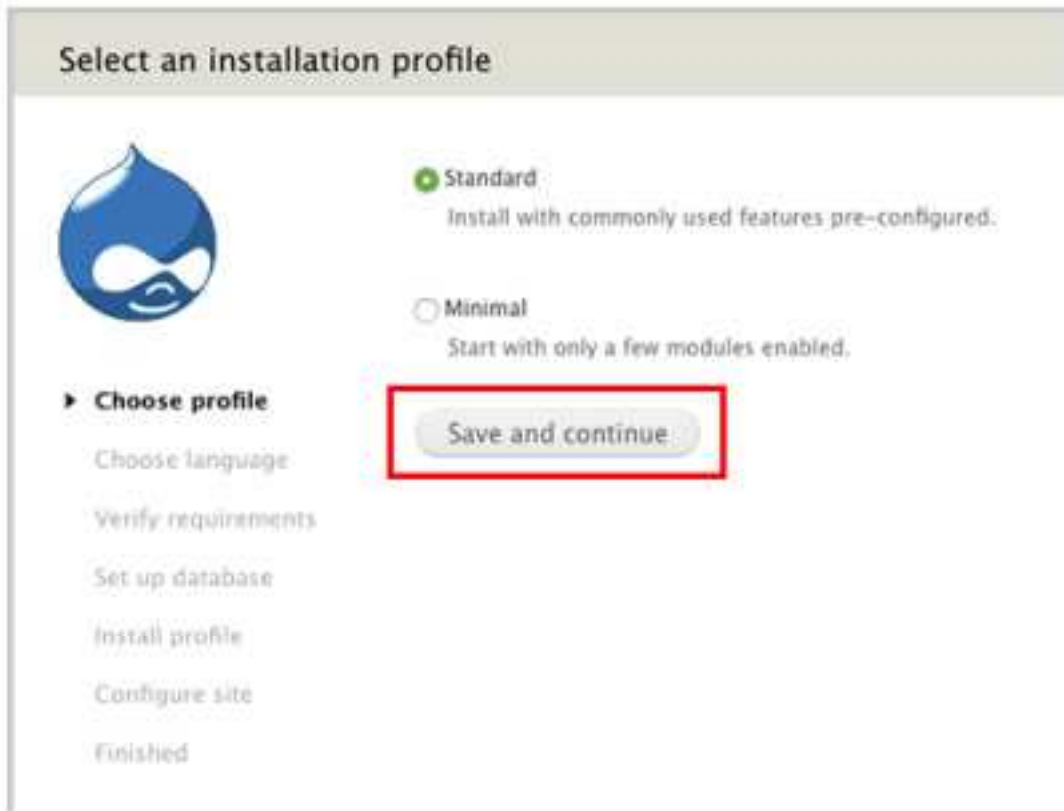
【必須】バージョンを選択してください

Drupal7 をインストール Drupal8 をインストール


確認事項に同意の上インストールする

2 コントロールパネルからインストール後、インストールを開始します。

Choose profile にて「Standard」を選択して「Save and continue」をクリックします。



Select an installation profile



Standard
Install with commonly used features pre-configured.

Minimal
Start with only a few modules enabled.

► Choose profile

Choose language

Verify requirements

Set up database

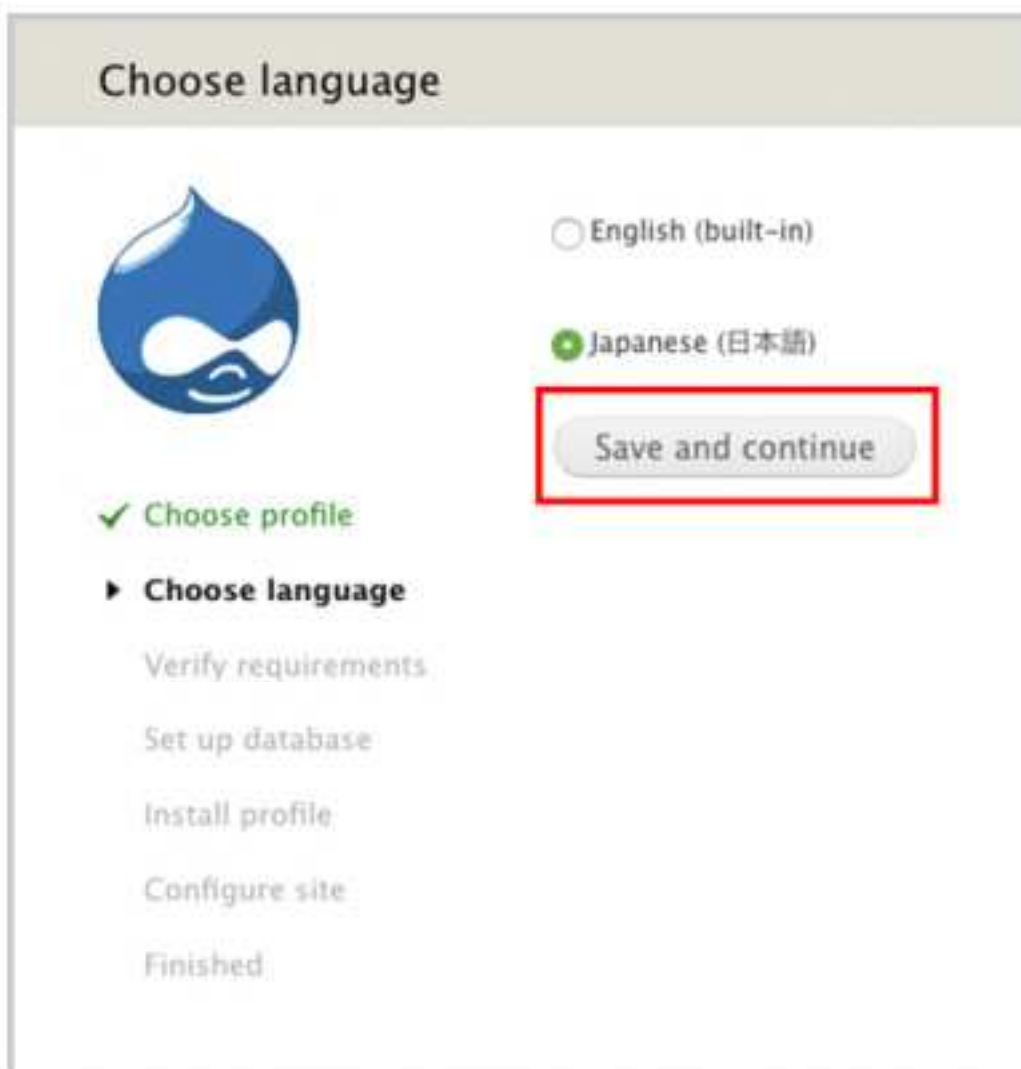
Install profile

Configure site


Finished

Save and continue

3 「Japanese (日本語)」を選択して「Save and continue」をクリックします。



Choose language



English (built-in)

Japanese (日本語)

✓ Choose profile

► Choose language

Verify requirements

Set up database

Install profile

Configure site

Finished

Save and continue

4 データベースの設定です。各項目を入力し、「高度なオプション」内の項目も含めて入力後、「保存して次へ」をクリックします。

データベースの設定



✓ プロファイルの選択

✓ 言語の選択

✓ 必要条件の確認

データベースのセットアップ

インストールプロファイル

接続のセットアップ

サイトの場所設定

接続が完了

完了

データベースのタイプ *

● MySQL, MariaDB, またはそれと同等のデータベースサーバー

● PostgreSQL

● SQLite

Drupalのデータを保存するデータベースのタイプを選択してください。

データベース名 *

XXXXXXXX_drupal

Drupalのデータを保存するデータベース名を入力してください。このデータベースは、Drupalをインストールする前にサーバーに存在している必要があります。

データベースのユーザー名 *

データベース情報のユーザー名

データベースのパスワード

高度なオプション

保存して次へ

高度なオプション

以下のオプションは一部のサイトでのみ必要となります。これらの項目に何を入力するかがよくわからない場合は、デフォルト設定のままにしておくか、ホスティングプロバイダーのマニュアル等をチェックしてください。

データベースサーバーのホスト名 *

127.0.0.1

データベースサーバーのホスト名を入力してください。多くの場合、データベースサーバーとウェブサーバーは同一サーバー上に設置されているため、この項目は `localhost` で問題ありません。しかし、ホスティングプロバイダーによっては、データベースサーバーを異なるサーバー上に設置している場合もあります。その場合は、そのホスト名を入力してください。

データベースサーバーのポート番号

3306

データベースサーバーのポート番号を入力してください。多くの場合、データベースサーバーの標準ポートが使用されますので、この項目は空欄で問題ありません。しかし、ホスティングプロバイダーによっては、データベースサーバーのポート番号を標準以外に設定している場合もあります。その場合は、そのポート番号を入力してください。

テーブルの接頭語

drupal_

テーブル名の先頭に付加する、`drupal_` のような接頭語を入力してください。このデータベースを他のアプリケーションと共有する場合は、Drupalサイトとそれらを識別するために使用されます。

保存して次へ

データベースのタイプ	MySQL
データベース名	コントロールパネルのログインID (ユーザー ID)_drupal00xx
データベースのユーザー名	コントロールパネルのログインID
データベースのパスワード	サーバー設定完了のパスワードご案内メールに記載のあるパスワード
データベースサーバーのホスト名	127.0.0.1
データベースサーバーのポート番号	3306
テーブルのプレフィックス	drupal_ データベースを識別するための情報です。

インストール処理が進みます。

インターフェース翻訳文字列のインポート



1中1完了。 100%

- ✓ プロファイルの選択
- ✓ 言語の選択
- ✓ 必要条件の確認
- ✓ データベースのセットアップ
- ✓ インストールプロフィール
- ▶ **翻訳のセットアップ**
 - マイの環境設定
 - 翻訳の完了
 - 完了

5 サイトの環境設定です。各項目を入力して保存して次へをクリックします。

サイト名	サイトの名称です。
サイトのメールアドレス	このサイトの代表メールアドレスを入力してください。 ユーザ登録やパスワードの再発行メール、各種の通知など、自動送信メールの「From: (差出人)」として使われます。

● サイトメンテナンスのアカウント

ユーザー名	管理者アカウントのユーザー名を指定します。 空白文字は使用できますが、ピリオド・ハイフン・アンダースコア以外の句読点は使用できません。
メールアドレス	システムからのメールは、すべてのこのアドレスに送信されます。
パスワード	管理者アカウントのパスワードです。
パスワードの確認	確認のためパスワードを再度入力します。

- サーバーの設定

デフォルトの国	サイトのデフォルトの国情報を選択してください。
デフォルトのタイムゾーン	サイトのタイムゾーンを指定してください。
アップデート通知	自動的に Drupal の更新チェックを行うかどうかを指定してください。有効にした場合、Drupal の新しいリリースが入手可能になった際に通知されます。

6 以上でインストールは完了です。新しいサイトのリンクをクリックします。

Drupalのインストールが完了しました



おめでとうございます。Drupal のインストールが完了しました。
あなたの新しいサイトにアクセスする。

- ✓ プロフィールの選択
- ✓ 言語の選択
- ✓ 必要条件の検証
- ✓ データベースのセットアップ
- ✓ インストールプロフィール
- ✓ 翻訳のセットアップ
- ✓ サイトの環境設定
- ✓ 翻訳の完了
- ✓ 完了

7 Drupal のサイトが表示されます。



Drupal のインストール (バージョン 8)

ここでは Drupal **バージョン 8.5.8** のインストール方法について説明します。
バージョン 7.60 のインストール方法は [⇒コチラ](#) をご覧ください。

目次

- ① インストールに当たっての制約事項
- ② インストール方法

インストールに当たっての制約事項

- 以下のディレクトリにはインストールできません
 .htaccess の存在するディレクトリ
 アクセス制御 (BASIC 認証) をご利用いただいているディレクトリ
- サーバー移転中のお客様は、移転完了までインストールできません。
 この原因は、URL と IP アドレスの関係が更新されていないためですのでご了承ください。

インストール方法

- 1 コントロールパネルの「CMS インストーラー」からを選択します。



▶ CMSのアンインストールはこちら

簡単インストーラー対応CMS一覧

	豊富なプラグインや高度な編集機能を備えている人気のCMSで、サポート情報も充実しています。
	CMSの運営者だけでなく、Web制作者の使いやすさも考慮して開発されたCMSです。
	PHPによる動的なページ生成が可能で、サードパーティ製のプラグインが豊富にそろっています。
	追加・修正をホームページ上で行うことができる直感的な操作での編集が可能なCMSです。
	国産のネットショップ構築システムとして人気のCMSで、日本語情報が充実しているのが魅力です。
	画面表示が早く軽快な動作が魅力のCMSです。モジュールの追加により機能拡張が可能です。
	ツリー構造により、情報設計・導線設計がしやすい、コンテンツ管理機能に優れた国産CMSです。

- 2 インストール先ディレクトリを指定し、「確認事項に同意の上インストールする」ボタンをクリックします。



- 3 URL をクリックし、インストール画面に進みます。

※画面下段の「データベース名」を控えてください。のちほどご入力いただく必要があります。

Drupal

[このページのヘルプ](#)

CMS の構成ファイルを、公開サイトに設置しました。
CMS のインストールに必要な情報を、サーバーご契約時にご登録いただいたメールアドレス宛に送信しました。

[設定手順]

以下の URL にアクセスし、初期設定に進みます。

SSL 未設定の方はこちら
<http://secure.ne.jp/install.php>
<http://www.secure.ne.jp/install.php>
独自ドメイン SSL の方はこちら
<https://secure.ne.jp/install.php>
<https://www.secure.ne.jp/install.php>

CMS で利用するデータベースも新規で作成されています。
CMS の初期設定画面でデータベース名が必要な場合は、以下をご利用ください。
データベース名: (MySQL5.6)

4 Choose languageで言語を選択して「Save and continue」をクリックします。



5 インストールプロフィールを選択して【保存して次へ】をクリックします。



6 【PHP OPcode のキャッシング】の項目が【無効】と表示されますが、ページ下部の「とりあえず進む」をクリックします。



7 データベースの設定情報を入力して「保存して次へ」をクリックします。

Drupal 8.5.8

言語の選択
 プロファイルの選択
 必要事項の確認
データベースのセットアップ
 サイトのインストール
 翻訳のセットアップ
 サイトの保護設定
 翻訳の完了

データベースの構成

データベースのタイプ *

MySQL, MariaDB, Percona Server または同等のもの
 PostgreSQL
 SQLite

データベース名 *

データベースのユーザー名 *

データベースのパスワード

▼ 高度なオプション

ホスト *

127.0.0.1

ポート番号

3306

テーブル名プレフィックス

複数のアプリケーションがこのデータベースを共有している場合、テーブル名に `drupal_` のような固有のプレフィックスをつけることで、衝突を防ぎます。

保存して次へ

データベースのタイプ	MySQL、MariaDB...を選択してください
データベース名	「ステップ3」で控えていただいたデータベース名を入力してください
データベースのユーザー名	サーバー設定完了メールに記載のあるデータベース情報のユーザー名を入力してください
データベースのパスワード	サーバー設定完了のパスワードご案内メールに記載のあるデータベース情報のパスワードを入力してください
ホスト	127.0.0.1を入力してください
ポート番号	CHM-01Z は 3307 を入力してください CHM-11Z は 3306 を入力してください

8 必要情報をすべて入力して「保存して次へ」をクリックします。

The screenshot shows the 'Site Configuration' page in the Drupal 9.4.2 administration interface. The page is titled 'サイトの環境設定' and contains several sections of configuration options:

- サイト情報 (Site Information):** Includes fields for 'サイト名' (Site Name), 'サイトのメールアドレス' (Site Email Address), and 'サイトのURL' (Site URL).
- サイトのドメイン (Site Domain):** Includes fields for 'ドメイン名' (Domain Name), 'ドメインのサブドメイン' (Domain Subdomain), 'ドメインのポート' (Domain Port), 'ドメインのパス' (Domain Path), and 'ドメインのポート番号' (Domain Port Number).
- サイトの言語 (Site Language):** Includes a dropdown menu for 'サイトの言語' (Site Language) and a dropdown for 'サイトのタイムゾーン' (Site Timezone).
- サイトのテーマ (Site Theme):** Includes a dropdown menu for 'サイトのテーマ' (Site Theme).
- サイトのキャッシュ (Site Cache):** Includes a checkbox for 'サイトのキャッシュを有効にする' (Enable Site Cache).

A red box highlights the '保存して次へ' (Save and Next) button at the bottom of the page.

9 以上でインストールは完了です。Drupal のサイトが表示されます。

目次

- 📄 baser CMSについて
- 📄 インストール方法

baser CMSについて

CakePHP をベースに作られたカスタマイズ性の高いオープンソース CMS です。すべてのコンテンツをフォルダ構造にしたツリー構造で、情報設計・導線設計がしやすい、コンテンツ管理機能に優れているのが特徴です。

バージョン

baser CMS のバージョンは、**4.1.3** です。

機能・利用方法はサポート対象外です

baser CMS の機能および利用方法、バージョンアップ方法などについてのサポートは行っておりません。利用方法等につきましては、公式サイトまたは関連書籍をご参照ください。

インストールに当たっての制約事項

- 以下のディレクトリにはインストールできません
 - .htaccess の存在するディレクトリ
 - アクセス制御 (BASIC 認証) をご利用いただいているディレクトリ
- サーバー移転中のお客様は、移転完了までインストールできません。この原因は、URL と IP アドレスの関係が更新されていないためです。ご了承ください。

インストール方法

- 1 コントロールパネルの「CMS インストーラー」から baser CMS を選択します。



▶ CMSのアンインストールはこちら

簡単インストーラー対応CMS一覧



豊富なプラグインや高度な編集機能を備えている人気のCMSで、サポート情報も充実しています。



CMSの運営者だけでなく、Web制作者の使いやすさも考慮して開発されたCMSです。



PHPによる動的なページ生成が可能で、サードパーティ製のプラグインが豊富にそろっています。

concrete5

追加・修正をホームページ上で行うことができる直感的な操作での編集が可能なCMSです。



国産のネットショップ構築システムとして人気のCMSで、日本語情報が充実しているのが魅力です。



画面表示が早く軽快な動作が魅力のCMSです。モジュールの追加により機能拡張が可能です。



ツリー構造により、情報設計・導線設計がしやすい、コンテンツ管理機能に優れた国産CMSです。

- 2 インストール先ディレクトリを指定し、「確認事項に同意の上インストールする」ボタンをクリックします。



3 URL をクリックし、インストール画面に進みます。

baserCMS このページのヘルプ

CMS の構成ファイルを、公開サイトに設置しました。
CMS のインストールに必要な情報を、サーバーご契約時にご登録いただいたメールアドレス宛に送信しました。

[設定手順]

以下の URL にアクセスし、初期設定に進みます。

SSL 未設定の方はこちら
[http://\[ドメイン\].secure.ne.jp/](http://[ドメイン].secure.ne.jp/)
[http://www.\[ドメイン\].secure.ne.jp/](http://www.[ドメイン].secure.ne.jp/)
独自ドメイン SSL の方はこちら
[https://\[ドメイン\].secure.ne.jp/](https://[ドメイン].secure.ne.jp/)
[https://www.\[ドメイン\].secure.ne.jp/](https://www.[ドメイン].secure.ne.jp/)

CMS で利用するデータベースも新規で作成されています。
CMS の初期設定画面でデータベース名が必要な場合は、以下をご利用ください。
データベース名: [ドメイン].basercms (MySQL5.6)

4 「インストール開始」 ボタンをクリックします。

baserCMSのインストール

コーポレートサイトにちょうどいいCMS - baserCMS - のインストールを開始します。
よろしければ「インストール開始」ボタンをクリックしてください。

baserCMSはMySQLデータベースのデータベースをリポートしています。SQL5.6 を利用すれば、インストールにデータベースサーバーは必要ありません。
※ 基本的にはデータベースはMySQL5.6以上で動作しますが、MySQL5.5以降のバージョンでも動作します。

インストール開始

5 画面下段の「次のステップへ」 ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'baserCMSのインストール' (baserCMS Installation) configuration page. It contains several sections with form fields and checkboxes for configuring the database, site name, and other settings. At the bottom right of the page, there is a button labeled '次のステップへ' (Next Step) which is highlighted with a red box.

6 baser CMS で使用するデータベースの設定を行ない、「接続テスト」ボタンをクリックします。

baserCMSのインストール [ステップ3]

データベースサーバーの場合は、データベースの接続情報を入力し接続テストを実行してください。
MySQL / PostgreSQLの場合は、データベースが存在し初期化されている必要があります。
既に用意したデータベースにデータが存在する場合は、初期データを上書きしてしまうので注意してください。
プレフィックスを活用しましょう。

データベース設定

接続情報

データベースタイプ
MySQL

データベースホスト名
127.0.0.1

ログイン情報
ユーザー名
パスワード

データベース名
basercms_mysite_ 3306

プレフィックス
baserCMSサンプルテーマ [default]

戻る **接続テスト** 次のステップへ

データベースタイプ	あらかじめ入力された状態になっています。
データベースホスト名	あらかじめ入力された状態になっています。
ユーザー名	コントロールパネルのログインID
パスワード	MySQLのデータベースのパスワードを入力します。 サーバーを利用するための設定完了メールに記載されている データベースのパスワード または コントロールパネルの初期パスワード を入力してください。
データベース名	あらかじめ入力された状態になっています。
プレフィックス	あらかじめ入力された状態になっています。
ポート	あらかじめ入力された状態になっています。

7 「次のステップへ」 ボタンをクリックします。

baserCMSのインストール [ステップ3]

● データベースへの接続に成功しました。

データベースサーバーの場合は、データベースの接続情報を入力し接続テストを実行してください。
MySQL / PostgreSQLの場合は、データベースが存在し初期化されている必要があります。
既に用意したデータベースにデータを存在する場合は、初期データを上書きされてしまうので注意してください。
プレフィックスを設定しましょう。

データベース設定

接続情報

データベースタイプ
MySQL

データベースホスト名
127.0.0.1

ポート番号
3306

データベース名
basercms_mysqldb_3306

データベースユーザー名
root

データベースパスワード
root

接続テスト

プレフィックス
baserCMSデフォルトのプレフィックスは「baserCMS」です。
変更する場合は、データベースの接続情報を入力してください。

プレフィックス
baserCMSデフォルトのプレフィックスは「baserCMS」です。
変更する場合は、データベースの接続情報を入力してください。

戻る 接続テスト 次のステップへ

8 baser CMS を管理するための情報を登録して「完了」ボタンをクリックします。

baserCMSのインストール [ステップ4]

● データベースへの接続に成功しました。

最後に管理情報を登録します。
ここで入力した管理者アカウント名やパスワードは忘れないようにしてください。

管理情報登録

管理用メールアドレス
[入力欄]

管理ユーザー登録
ここで設定した管理用パスワードは忘れないようにしてください。

管理者アカウント名 (必須) [入力欄]

パスワード (必須) [入力欄]

パスワード (確認) [入力欄]

管理者アカウント名とパスワードは忘れないようにしてください。

戻る 完了

9 以上でインストール作業は完了です。

baserCMSのインストール完了！

おめでとうございます！baserCMSのインストールが無事完了しました！
管理用メールアドレスへインストール完了メールを送信しています。

次は何をしますか？

- [管理画面でユーザーを作成する](#)
- [メニュー項目を設定する](#)
- [baserCMSのSEO設定を変更する](#)
- [テーマにインストール済のプラグインをインストールする](#)
- [お好みのプラグインをインストールする](#)
- [Facebookを連携させる](#)

グループウェア「iQube+」は、「スケジュール・設備予約」「タイムカード機能」「ワークフロー」「共有フォルダ」などの各種機能を備えた非常に使い勝手に優れたグループウェアです。

❗ 重要

- 「iQube+」は30ユーザー以内で無償でご利用のお客様で、最終ログイン日より3ヶ月間ログインのないお客様のアカウントは無効とさせていただきます。あらかじめご了承ください。
- 「iQube+」は30ユーザーまで無償でご利用いただけます。31ユーザー以上でご利用の場合は、別途有償オプションをお申し込みください。
- 他のグループウェアのデータのインポート等、CPIでは承ることができません。
- ソフトウェアの性質上、サーバーにおいてすべての機能の動作を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。

目次

- ② インストール
- ② アンインストール

インストール

- 1 コントロールパネルの【ソフトライブラリ】から【iQube+】をクリックします。

iQube+

▶ [iQube+](#)

スケジュール共有、社内Wiki、社内ブログ、モバイル対応のSaaS形式のグループウェアiQube+をインストールすることができます。

現在の状態	
iQube+はインストールされていません。	

iQube+のインストール	
以下のフォームにお客様の情報をご入力いただき、[内容を確認する]ボタンを押していただきますようお願いいたします。	
全て必須項目です。	
会社情報	
会社名	<input type="text" value="あいうえお会社"/>
会社名(かな)	<input type="text" value="あいうえおかいしゃ"/>
電話番号	<input type="text" value="03-1234-5678"/>
郵便番号	<input type="text" value="123-4567"/>
都道府県	<input type="text" value="東京都"/>
市区町村	<input type="text" value="千代田区"/>
住所	<input type="text" value="麹町"/>
担当者名	姓: <input type="text" value="山田"/> 名: <input type="text" value="花子"/>
担当者名かな	姓: <input type="text" value="やまだ"/> 名: <input type="text" value="はなこ"/>
ログイン情報	
管理者メールアドレス	<input type="text" value="sample@example.com"/>
初期ユーザーのパスワード	<input type="password" value="....."/> ※半角英数字と半角記号(-)を 6~20字でご入力お願いします
初期ユーザーのパスワード(再入力)	<input type="password" value="....."/>
<input type="button" value="内容を確認する"/>	

POINT

管理者メールアドレスは、iQube+ でご利用いただいたことがないメールアドレスをご指定ください。一度ご利用いただいたメールアドレスではインストールできません。

- 3 確認用のメッセージが表示されます。インストールを行う場合は【インストールする】ボタンをクリックします。

iQube+をインストールします。よろしいですか？

会社情報

会社名	あいえお会社
会社名(かな)	あいえおかいしゃ
電話番号	03-1234-5678
郵便番号	123-4567
都道府県	東京都
市区町村	千代田区
住所	麹町
担当者名	姓:山田 名:花子
担当者名かな	姓:やまだ 名:はなこ

ログイン情報

管理者メールアドレス	sample@example.com
------------	--------------------

インストールする 戻る

iQube+のURLは、以下の通りとなります。

<http://app.iqube.net/login?code=kwc>

ログインに使用するメールアドレスはインストール時に入力した
管理者メールアドレスとなります。

4 インストール完了後、お客様の iQube+ 情報が表示されます。

インストール時にご入力 of 管理者メールアドレス宛に同じ内容 of メールが送信されます。

iQube+ of インストールが完了いたしました。
お客様の iQube+ of 情報は、以下 of 通りとなります。
また、インストールに関する情報を、インストール時にご入力いただいた
管理者メールアドレス宛に送信させていただきましたので、
大切に保存ください。

ご利用ありがとうございます。

現在の状態

iQube+ はインストールされています。

URL	http://app.iqube.net/login? code=kwc
管理者メールアドレス	example@example.jp
初期パスワード	example
会社コード	XXXXXXXXXX
ユーザー数	10

戻る

POINT

iQube+ of URL は以下 of ようになります。

<http://app.iqube.net/login?code=kwc>

- 5 iQube+ ログイン画面で、管理者メールアドレス、パスワード、会社コードを入力して【ログイン】ボタンをクリックします。

iQube+ログイン

メールアドレス	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/> パスワードをお忘れですか？
会社コード	<input type="text"/> <small>※ 他社にログインする場合は、会社コードが必要です。</small>

iQube+ へログイン後は、iQube+ のオンラインマニュアルをご参考いただきご利用願います。

iQube+ 取入先会社 山田 花子 全ログアウト

ホーム | メンバリスト | スケジュール | 報告書 | ファイル | メッセージ | その他

所属グループ | グループユーザー | 新規アカウント

全て

社内報の重要記事	本誌メッセージ	スケジュール
タイムカード 出勤 退社 外出 戻り	本誌の電話メモ	山田 花子 予定の新規作成
タスク 自ラボ 依頼されたもの 依頼したもの チェックした項目を 報告する	新着WA	<< 2012年 2月 >> 日 月 火 水 木 金 土 26 27 28 29 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 1 2 3 4 5 6 7 3月30日(金曜日)の予定
新着日記	新着ブックマーク	新着スケジュール
日記への新着コメント		本誌報告書
社内報の新着記事		

アンインストール

インストール後は、コントロールパネルの【ソフトライブラリ】から、【iQube+】をクリックしアンインストールを行うことができます。

- 1 コントロールパネルの【ソフトライブラリ】から【iQube+】をクリックします。



iQube+ [iQube+](#)

スケジュール共有、社内Wiki、社内ブログ、モバイル対応のSaaS形式のグループウェアiQube+をインストールすることができます。

- 2 【iQube+ を削除する】をクリックします。

iQube+は既にインストールされています。
このページから、iQube+を削除することができます。

現在の状態

iQube+はインストールされています。

URL	http://app.iqube.net/login?code=kwc
管理者メールアドレス	*****@*****.co.jp
会社コード	*****
ユーザー数	*****

[iQube+を削除する](#)

3 削除を確認するメッセージが表示されます。

iQube+ をアンインストールする場合は【削除を完了する】ボタンをクリックします。

iQube+を削除します。よろしいですか？

現在の状態

iQube+はインストールされています。

URL	http://app.iqube.net/login?code=kwc
管理者メールアドレス	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX@XXXXXX.XX
会社コード	XXXXXXXXXX
ユーザー数	10

一度削除したiQube+のデータは、全て失われます。
このiQube+を本当に削除してもよいかご確認の上、削除を実行してください。
なお、iQube+を削除した後、新規に再度iQube+をインストールすることは可能です。

❗ 重要

■一度削除した iQube+ のデータは、すべて失われます。

十分にご確認のうえ、削除を実行してください。

なお、iQube+ を削除した後、新規に再度 iQube+ をインストールすることは可能です。

■再インストールの際、一度利用された管理者メールアドレスはご利用いただけません。別のアドレスにてインストールをお願いいたします。

4 削除完了のメッセージが表示されます。

iQube+の削除が完了いたしました。ご利用ありがとうございました。

ownCloud について

ownCloud は、専用のオンラインストレージをかんたんに構築できるオープンソースのパッケージソフトウェアです。

「DropBox」や「Google ドライブ」のような使い勝手を維持したまま、社内や取引先との安全なファイル共有を可能にします。法人向けの専用オンラインストレージとして人気が高まっています。

バージョンにご留意ください

当ツールにてインストールされる ownCloud のバージョンは、**ownCloud 8.2.11** となります。

機能・利用方法はサポート対象外です

ownCloud の機能および利用方法、バージョンアップ方法などについてのサポートはいっさい行っておりません。利用方法等につきましては、公式サイトまたは関連書籍をご参照ください

- 2 インストールするディレクトリを選択後【確認事項に同意の上インストールする】をクリックします。

● POINT

- ・ ownCloud のログイン画面の URL は ownCloud をインストールしたディレクトリです。
- ・ ownCloud のユーザーデータが保管されるディレクトリは /html ディレクトリと同じ階層に
- ・ owncloud-data{インストールした日付}、の形式で生成されます。

例：2019 年 12 月 15 日にインストールした場合

owncloud-data20191215

データ保管ディレクトリの名称や階層は変更することができません。

- ・ ownCloud を複数インストールすることはできません。



3 ownCloud のインストール画面が表示されます。

❗ 重要

ownCloud で利用するデータベースはインストール時に作成されます。



The screenshot shows the MySQL configuration step of the ownCloud installation. At the top, there is a cloud icon and the text "管理者アカウントを作成してください" (Please create an administrator account). Below this, there are two input fields: "ユーザー名" (Username) and "パスワード" (Password). A "MySQL" button is located below the password field. The second section, labeled "2", contains four input fields: "owncloud" (Database name), "データベースのパスワード" (Database password), "owncloud_owncloud" (Database prefix), and "127.0.0.1" (Database host). At the bottom, there is a "セットアップを完了します" (Finish setup) button and a help link: "ヘルプが必要ですか? ドキュメントを確認してください" (Need help? Check the documentation).

①ownCloud で利用するユーザーの情報を入力します。

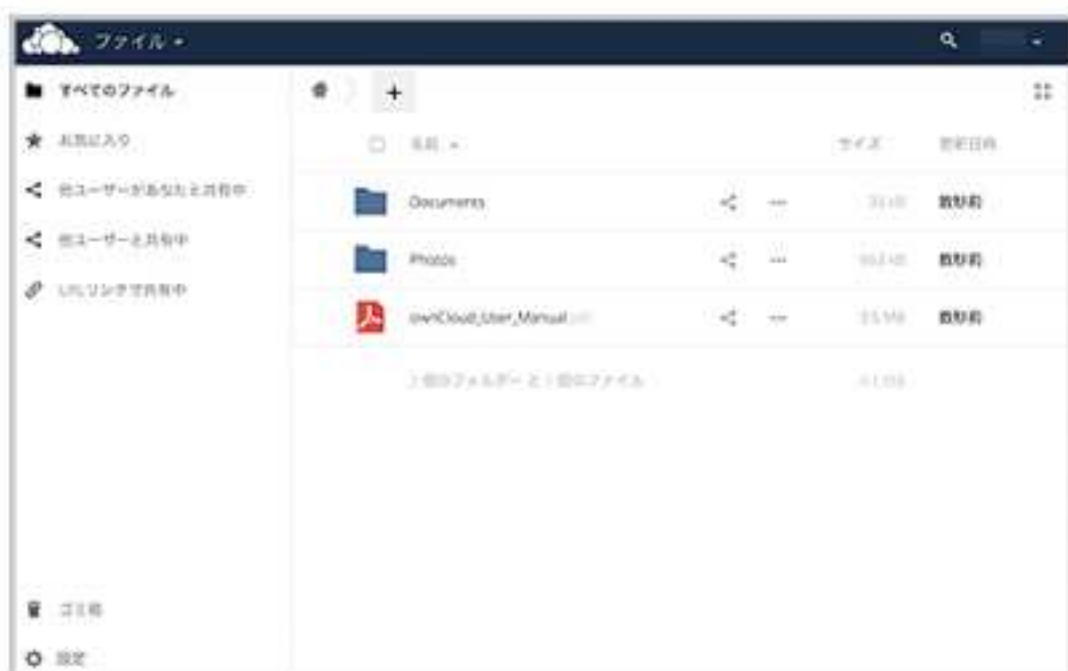
ユーザー名	ownCloud にログインするユーザー名です。 お客さまにてユーザー名を指定してください。
パスワード	ownCloud にログインする際のパスワードです。 お客さまにてパスワードを指定してください。

②ownCloud で利用する MySQL のデータベースの情報を入力します。

データベースユーザー名	データベースユーザー名はあらかじめ入力されています。 変更はしないでください。
データベースパスワード名	データベースのパスワードをご入力ください。 ※データベースパスワードは、ご契約時にお送りした[パスワード通知]のメールをご確認ください。
データベース名	データベース名はあらかじめ入力されています。
データベースのホスト名	127.0.0.1 が入力されています。 変更はしないでください。

4

ownCloud にログインができれば、インストール作業は完了です。



POINT

ownCloud のログイン画面の URL は ownCloud をインストールしたディレクトリを含む URL となります。

例：SSL サーバー証明書未導入、インストールディレクトリが `html/folder1/` の場合

`http://お客さまドメイン名/folder1/`

例：SSL サーバー証明書をご利用し、インストールディレクトリが `html/folder1/` の場合

`https://お客さまドメイン名/folder1/`

例：共用 SSL をご利用で、インストールディレクトリが `html/folder1/` の場合

`https:// [お客様ドメイン名を一部変換] .cpi-common.jp/folder1/`

インストール

目次

- ① インストールに当たっての制約事項
- ② インストール方法

インストールに当たっての制約事項

- 以下のディレクトリにはインストールできません
 - .htaccess の存在するディレクトリ
 - アクセス制御 (BASIC 認証) をご利用いただいているディレクトリ
 - サブドメイン用ディレクトリ (/virtual) 以下を指定したとき
- サーバー移転中のお客様は、移転完了までインストールできません。この原因は、URL と IP アドレスの関係が更新されていないためです。ご了承ください。

インストール方法

- 1 コントロールパネルの【ソフトライブラリ】から【ownCloud】をクリックします。

ソフトライブラリ		このページのヘルプ	
 CMSインストーラー CMS は、ホームページを自動的に作成/管理/配信するためのソフトです。WordPressをはじめ、各種 CMS のインストールまでを自動的に行えます。	 iQube+ スケジュール共有、社内 Wiki、社内ブログ、モバイル対応のSaaS形式のグループウェアiQube+をインストールすることができます。		
 Movable Type Movable Type はシックス・アパート社のウェブログです。	 ownCloud サーバーにインストールすることで自社専用のオンラインストレージとして利用することができます。		

注意事項

弊社で提供している ownCloud のインストーラでは、下記のような制限事項、注意事項がございます。

目次

- ④ ownCloud のクライアントを利用した際のエラー
- ④ セキュリティ&セットアップ警告
- ④ 各種設定や利用方法について
- ④ ownCloud アクセス用 URL 注意事項

ownCloud のクライアントを利用した際のエラー

ownCloud は、ウェブブラウザでご利用いただく以外に、PC 用クライアント (Desktop app)、Android 用アプリケーション、iOS 用のアプリケーションでご利用いただくことができます。

アプリ

すべてのアプリの動作を保証するものではありません。

下記のエラーが出力された場合は、CPI サーバーではご利用いただけません。

- cURL error 60 : SSL certificate problem: unable to get local issuer certificate. (CPIサーバー仕様上、このエラーが発生するアプリはご利用いただけません。)
- 次の依存関係が満たされないためこのアプリをインストールできません : The library ldap is not available. (CPI サーバーでは LDAP 機能を提供していないため LDAP 関連のアプリはご利用いただけません。)

セキュリティ & セットアップ警告

ownCloud にログイン後、【管理】メニューにアクセスすると、セキュリティ & セットアップ警告が表示されます。

ownCloud に http:// から始まる URL でアクセスしてご利用いただいた場合の警告

セキュリティ & セットアップ警告

HTTP 経由でアクセスしています。security tips を参照して、代わりに HTTPS を使用するようサーバーを設定することを強くおすすめします。instead as described in our .

上記警告に伴うリスクを回避するためには、弊社で提供している SSL サーバー証明書を導入いただき、お客様がご利用の端末 (PC、スマートフォンなど) と ownCloud がインストールされているサーバー間の通信を暗号化していただけます。

ownCloud に https:// から始まる URL でアクセスしてご利用いただいた場合の警告

セキュリティ & セットアップ警告

"Strict-Transport-Security" HTTP ヘッダが最小値の "15768000" 秒に設定されていません。セキュリティを強化するため、security tips を参照して、HSTS を有効にすることをおすすめします。

SSL サーバー証明書を導入し、https:// から始まる URL にて ownCloud をご利用した場合も、CPI サーバーの仕様により上記警告が表示されます。しかしながら、お客様がご利用の端末 (PC、スマートフォンなど) と ownCloud がインストールされているサーバー間の通信は暗号化され安全にご利用いただけますのでご安心ください。

各種設定や利用方法について

CPI では ownCloud のインストール部分について、説明やサポートを提供しております。ownCloud のご利用方法や各種設定、各種クライアントの利用方法についてはお客さまご自身でお調べいただきますようお願いいたします。

ownCloud アクセス用 URL 注意事項

お申し込みのドメイン名が【example.com】、インストールディレクトリが【testdirectory】の場合、ownCloud を利用する際に以下の URL が利用できます。

URL
http://example.com/testdirectory/
http://www.example.com/testdirectory/
https://example.com/testdirectory/ ※別途 SSL サーバー証明書が必要（コモンネームが example.com の場合）
https://www.example.com/testdirectory/ ※別途 SSL サーバー証明書が必要（コモンネームが www.example.com の場合）
https://ssl-example-com.cpi-common.jp/testdirectory/ ※共用 SSL を使用する場合

別の URL でご利用する場合の ownCloud の警告表示

インストール後に、別の URL でアクセスした場合は、条件によっては警告が表示されます。

- www なしの URL でインストールした後、www ありの URL でアクセスした場合
- www ありの URL でインストールした後、www なしの URL でアクセスした場合
- www なし、ありの URL でインストールした後、共用 SSL の URL でアクセスした場合
- 共用 SSL の URL でインストールした後、www なし、ありの URL でアクセスした場合

インストール時の URL にアクセスした場合

例) <http://example.com/testdirectory/>



ユーザー名

パスワード →

パスワードを保存

異なる URL でアクセスした場合

例) <http://www.example.com/testdirectory/>

以下のような警告が表示されますが、一旦この画面は閉じてください。



異なる URL でのアクセスを許可する方法

ownCloud をインストールしたときの URL の末尾に、以下の文字列追加してください。

```
/index.php/settings/admin?trustDomain=【異なるドメイン名】
```

今回の例の場合以下を追加します。


```
/index.php/settings/admin?trustDomain=www.example.com
```

例) <http://example.com/testdirectory/index.php/settings/admin?trustDomain=www.example.com>

インストール時のログイン画面が表示されますので、ログインします。

The image shows the login interface of ownCloud. At the top center is a white cloud icon on a dark blue background. Below it is a white login form with two input fields: 'ユーザー名' (Username) and 'パスワード' (Password). The password field has a right-pointing arrow icon. Below the form is a checkbox labeled 'パスワードを保存' (Save password).

ログイン後、以下のダイアログが表示されますので、【はい】をクリックします。
これで、インストールした ownCloud に異なる URL でアクセスできるようになります。

The image shows a dialog box titled '信頼するドメイン名に追加' (Add to trusted domain names). The text inside asks: '！ `www.-----secure.jp` を信頼するドメインに追加してもよろしいでしょうか？' (Would you like to add `www.-----secure.jp` to the trusted domain?). There are two buttons at the bottom: 'いいえ' (No) on the left and 'はい' (Yes) on the right. The 'はい' button is highlighted with a red square.

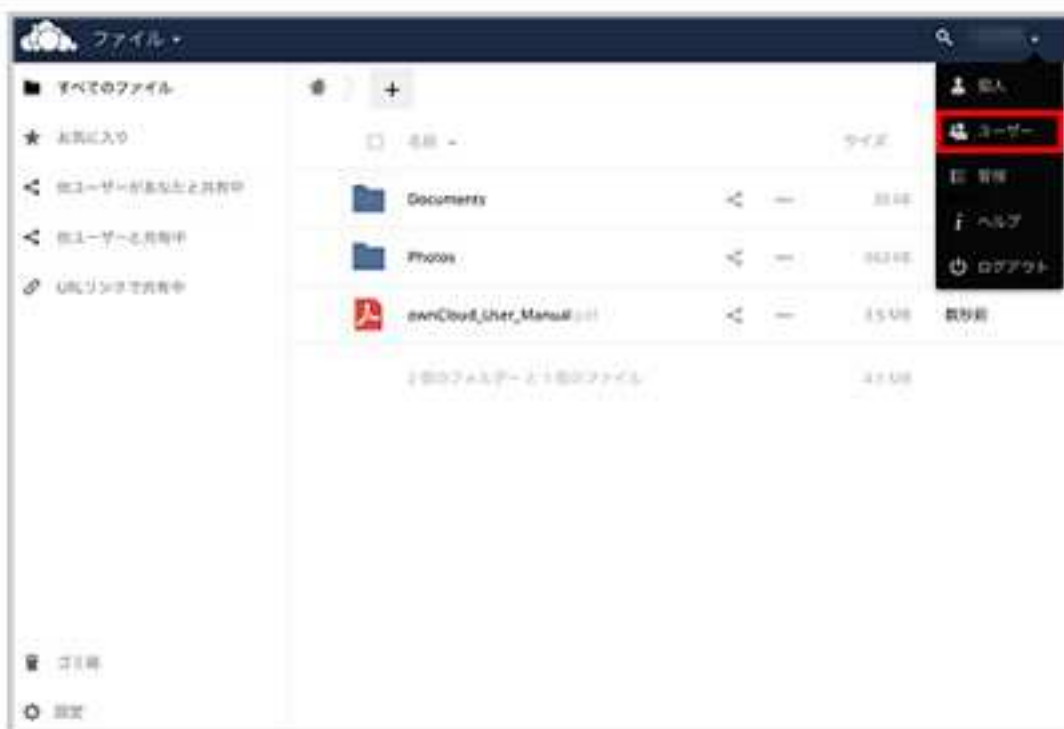
ownCloud の利用方法

目次

- ① ユーザーを追加する/削除する
- ② ファイルのアップロード
- ③ ファイル/フォルダのダウンロード

ユーザーを追加する/削除する

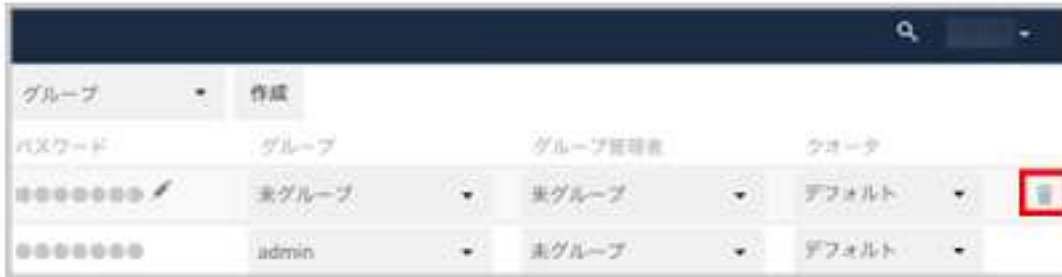
- 1 右上のメニューから「ユーザー」を選択します。



- 2 ユーザー ID、パスワードを入力し、追加するグループを選択して「作成」ボタンをクリックします。



- 3 ユーザーを削除するには、下記の画像のように削除したいユーザーのゴミ箱アイコンをクリックしてください。



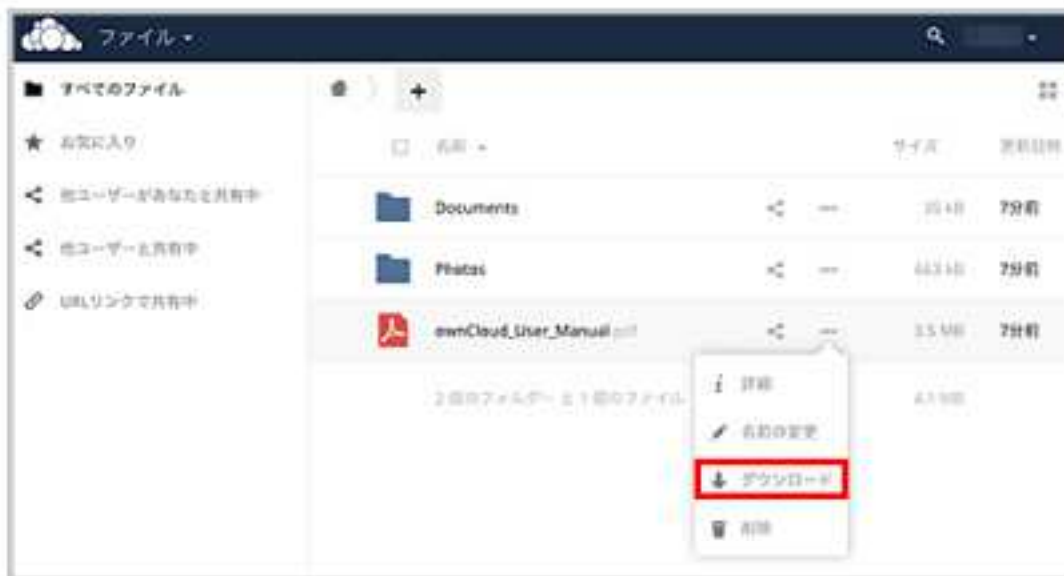
ファイルのアップロード

アップロードするフォルダを選択し、メニューから「アップロード」を選択します。
また、フォルダにドラッグすることでもファイルをアップロードすることができます。

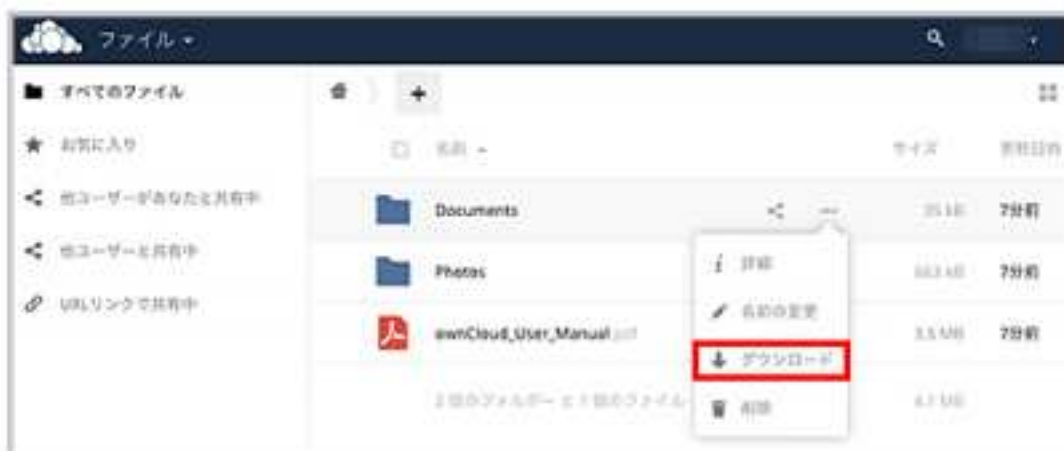


ファイル/フォルダのダウンロード

- 1 ダウンロードするファイルを選択し、メニューから「ダウンロード」を選択します。



- 2 ダウンロードするフォルダを選択し、メニューから「ダウンロード」を選択します。



アンインストール

ownCloud を削除、初期化したいときなどにアンインストールを行います。

❗ 重要

アンインストールを実行しますと、ownCloud に関連するファイルはすべて削除されます。アンインストール実行後のデータの復旧などはいっさいお受けしておりません。あらかじめご了承ください。

- 1 コントロールパネルの【ソフトライブラリ】の【ownCloud】から【ownCloud のアンインストール】をクリックします。

ownCloudのインストール このページのヘルプ



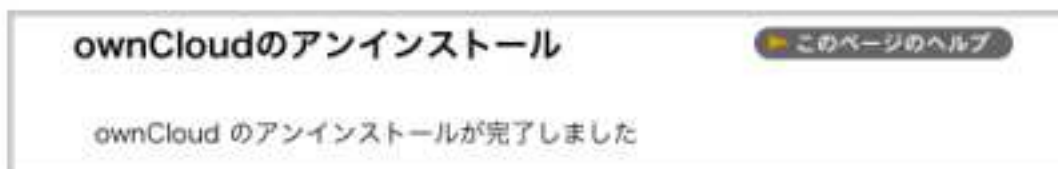
ownCloudは、オンラインストレージを構築することができるOSS（オープンソースソフトウェア）です。所有するサーバ(クラウド)にインストールすることで自社専用のオンラインストレージとして利用することができます。様々なデータを保管、同期、共有することができます。

 [▶ アンインストールはこちら](#)

- 2 インストール済みの場合、以下のような画面が表示されますので、【アンインストールする】ボタンをクリックします。



- 3 アンインストールが正常に終了すると、以下の画面が表示されます。



CGI に関するご注意点

CPI が提供している以下の CGI の著作権は、各制作会社に帰属します。また、CPI で提供している CGI は、コントロールパネルの【制作ツール】および【ソフトライブラリ】で提供されているものとし、ヘルプに従ってご利用いただく場合に関しては、CPI のサーバーで動作することを保証いたします。

CGI の著作権について

CPI が提供している以下の CGI の著作権は、各制作会社に帰属します。

- Movable Type：著作権はシックス・アパート社に帰属します。
- CMS インストーラーでインストールされる CGI：CMS インストーラーでインストールされる CMS ツールの著作権は、各CMSツールの開発元に帰属します。インストールされる CGIは、GNU GPL ライセンスによって配布されています。詳細は各 CMS ツールの開発元にご確認ください。

GPL ライセンスとは

ソースコードの公開を原則とし、決められた条件のもとであれば、複製も配布も自由に行える、という規約です。

主な内容について

- 用途制限がないため、商業利用も可能。
- 複製して自由に再配布できる。
- 希望すればソースコードを入手できる(オープンソースである)。
- ただし、複製/配布/修正を行う際には使用許諾に従う必要がある。
- プログラムの派生物にも同じ使用許諾を適用する。
- 上記の権利を確保するため、著作権を主張する(コピーレフト)。
- プログラムの保証は いっさいない。

すべての CGI は、CPI のサーバー以外で利用したり、無断で販売したりしないでください。

CGI の保証の放棄について

CPI で提供している CGI は、コントロールパネルの【制作ツール】および【ソフトライブラリ】で提供されているものとし、ヘルプに従ってご利用いただく場合に関しては、CPI のサーバーで動作することを保証いたしません。

これらの CGI は商業可能性や特定の用途に対する適切性などに対して暗示的な保証もなければ、それ以外のいかなる保証も行いません。

CPI はこれらの CGI を使用したことによる損害と申し立てられたもの、または実際にあった損害に対するいかなる責任も負わないものとします。

また CPI がコントロールパネルで提供している以外のプログラム（CGI を含む）についても、いかなる保証も負わないものとします。

実際に使用する前に充分テストを行い、ご希望通りの動作ができることを確認してからお使いください。